



山脈



特集



マンガ

5

山脈

VOL.05

巻頭特集「恋人に読んでほしいマンガ」

新脈プレジャーコミック新人賞

揺籃期の終わり - ふみふみこを語る -

朱堀裡乃進

チウレの陽

さうじ

廃棄 (す) てるひとびと——博内和代と遠藤浩輝 午後の翳り

大友宗麟

うさぎ負いし課のヤマ

伊東マンション

彼氏が突然地下アイドルにはまった

神原麻里

A B Cの集い

うたがわきよみ

宮崎駿の中の諸星大二郎と、手塚治虫の亡霊

橘蜜瓶

詩まうまは逃げたい

諸星ゆびわ

山脈付録ミニブック「チウレの陽」

さうじ



恋人に読んでほしいマンガ

企画！

私たちは幼いうちから当たり前のようにマンガに接して生きていますが、日本マンガ文化は男女をはっきりと分けて進化した独特な歴史があります。他のメディア、映画や音楽などは男女によってジャンル分けを行ったりしていません。同じ娯楽作品として考えるとマンガのジャンル分けは異質なものです。そこで、男女が交差する恋人という単位内で『マンガ』という文化交流をする場合、このジェンダー差というのがどのように関わってくるのか、たとえば、男女差を埋めるような中性的な作品を薦めるのか、それとも相手を理解している証明として異性に向けたマンガを薦めるのか、または自分を理解してもらう為にマンガを通して自分の性の強いマンガを薦めるのか、はたまた男女の違いなどは業界が勝手に定めたもので、なにも気にせず自分がおもしろいと思ったものを薦めるのか、皆さんがどういったアプローチで、どういったタイトルがあがってくるのかを投稿されたタイトルを通して各自が探っていくという目的をもった企画となっております。もちろんこれは推薦者のパーソナリティによって変化するものだろうということで、『恋人に読んでほしいマンガ』を三つ選んでもらいたい、どういいう作品があがってくるのかを見てみたいという企画です。

……えっ？

つまり

**モテるマンガが
知りたい！**

ということですよ！

えっ？

少し
マイナーかも…

ぐいぐい



アクアリウム

須藤真澄

隠れ不思議ちゃんマンガ

須藤真澄というと「ゆず」のイメージが強いけど、あたしは断然アクアリウムが好き。お魚と喋れる不思議な女の子が観る異世界がなんとも幻想的で印象深い。水たまりに足を踏み入れた途端に落ちてしまいそうなほど身近にあるその世界に逃れられないような暖かさを感じる。ああ、あたしもこんな世界に行き来してた頃があった気がする。そんな懐かしい気持ちになる。わかってくれとは言わないけどわかってくれそうな人は好きだ。



フリクリ

ウエダハジメ

ステレオタイプじゃ飽きちゃう

フリクリはアニメもおもしろいけど、やっぱりウエダハジメ先生の描くマンガ版のわけわかんなさがいい。この作品の魅力のひとつに引き出しの多さがある。とつぜん、詩がはじまり、名文、名画の構図のパロディーが入る。それは今まで読んできたマンガにはなかったものでそれが気持ちいい。壊れていく世界の中をユーモアと教養が満ちる。この引き出しの多さ、それを受け入れることのできる器量。そのどちらかを恋人に求めたい。



デビルマン

永井豪

デビルマンくらいは読んでいてほしい

同じ趣味の人間なんていないし、自分の趣味を押し付けてもあまりいいことはない。恋人に読ませたいマンガというのはなかなか難しい。ただ「デビルマンくらいは読んでいてほしい」というのはある。別にこのマンガを好きでいてほしいというわけではないし、嫌いだったら嫌いでもいい。でも、このマンガの重みや濃厚な物語を理解できる人じゃないと一緒に行動していくのは難しいんじゃないのかと思う。せめて、心にデビルマン！

けい

性別 女
住所 千葉県
一言 古いマンガばかりですみません！

いいかげんにしろ！



初期のいましてろたかし

いましてろたかし

恋などしている場合ではない

繰り返すようだが恋などしている場合ではない。ここには男のどうしようも無さしかないのである。ただ、それだけである。金も時間も余裕もない。すべてを失った男たちの、かくも力強く壊れやすい猛毒入りミルフィーユのごとき日常。どうしようもなさの煮こごりが純度99パーセントでアスファルトに叩きつけられている。この傑作を男女の手で読み解かぬ限り、はっきり言って人類に未来はない。



そっと好かれる

小田 盾

革ジャン着てなかったら死んでた

このいちましさはいったい何なのか。とにかく不器用さばかりが降り積もる。小田氏の描く作品に通底するのは、本当に僅かな「ズレ」である。我々は自分のやり方にズレがないものと信じ、尚かつそれに忠実でなければならぬ。ならないのだが、どうにも軋轢は発生するのであって、そもそもズレを意識すること自体が間違いの始まりである。好意の抱き方に正解も不正解もないのだと再認識させてくれる一冊。



バクネヤング

松永 豊和

暴力パラダイス

恋はいつでもダイナマイトどどん。今は亡きヤンサン暴力マンガ系列の影の至宝。純国産の読む爆薬。画期的とさえ言えるコマ割りはシュールながらも綿密でインパクト大。それでいて非常に読み易い。基本的にバカが狂人しか出てこないのが、独りで読むならワールド・イズ・マインでもよいが、女の子と読むならバイオレンス描写が若干まろやかな分、やはりこっちである。

REC

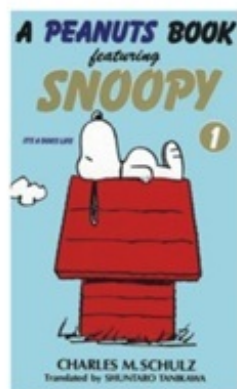


性別 男
住所 愛知県
一言 金くれ。

恋人に読んでほしいマンガ③

遠藤玄三

今度は絶対
気に入るから！



PEANUTS

チャールズ・M・シュルツ

子ども達の哲学体系

世界一有名なビーグル犬、スヌーピーを生み出したアメリカの漫画。日本ではなんと言ってもスヌーピー、次いで主人公であるチャーリー・ブラウンが有名だが作中には他にも数多くのキャラクターが登場し、それらは皆子ども（もしくは犬やメケサク鳥）とは思えないシニカルな視点や独自の哲学を持っている。それでいて彼らが求めるものはクッキーや毛布や赤毛の女の子で、結局のところ人生はそんなものなのかもしれない。



同窓生代行 - 売野機子作品集 2 -

売野機子

生きているから、恋をする。

「恋」をテーマとした8本の短編が収められた短編集。その形は多岐に渡り、「男と女」なんてのは下手をすればマイノリティかもしれないし、だからこの恋たちはきっと綺麗には終わらない。けれども、あまりに違うそれら全てを一言でくくってしまう「恋」ということばは人類の発明したものの中でもトップクラスにちがいないだろう。そのことだけで救われるなら、きっとあなたはこの一冊が好きになるはずだ。



からくりサーカス

藤田和日郎

世界全てを舞台に変えて

はっきり言ってしまおう。女の子にモテたいならこの漫画はベストってわけじゃない！ でもさ、この漫画の一番いい楽しみ方は絶対に息つかずに最初から読みきってしまうことなんだ！ そして——ああなんてこった、こいつは一気に貸すには少々重い！ となると手段は限られる。君の家に呼んで、こたつにでも入って、積み上げた漫画の山を崩していく。そんなのを眺めるのに恋人ほどいい相手がいるかい？

遠藤玄三

性別 おす
住所 ロアナプラ
一言 あのこはぼくに イエスタデイをうたっていった

恋人に読んでほしいマンガ④

まつばらきのこ

だから君も
なんか貸せ！



幽☆遊☆白書

富樫義博

なつかしの名作

言わずと知れた90年代ジャンプの王道漫画。しかし、たまに「読んだことない」と言う異性がいるのでびっくり。仲間、絆、バトル、の要素が中心の少年漫画を駆け抜けるようであり、勧善懲悪ではない世界観は当時から健在。幽遊白書の大半はバトルだが、連載当初のラブコメちっくなストーリーもおもしろい。「読ませたい」よりも「読んでくれないと困る」漫画である。



小さなお茶会

猫十字社

甘く辛いメルヘン

「もっぷ」と「ぶりん」という猫の夫婦のお話。メルヘンな絵柄なので一見少女向けかと思われるが、私達の日常の中の「こんな気持ちあるなあ」という痛みや、哲学的なストーリーなどが詰め込まれている。コンプレックスに真摯に向き合う登場猫物(じんぶつ)には何度も励まされた。「こんな男はモテる！」といった雑誌の特集に躍り付く恋人には失望するが、もっぷのような大らかな旦那さんを目指してくれるなら大歓迎だ。



動物のお医者さん

佐々木倫子

へこんだときの処方箋

佐々木倫子の漫画はどれも楽しくておもしろい。この作品に登場する動物たちは、我々の「動物はかわいい」という認識をあっさり蹴散らすほど皆性格を持って生きており、従来の＜動物もの＞よりもリアリティを感じる。動物に決して引けを取らないクセの強い人物たちや、絶妙すぎる語りのツッコミなど、特に動物好きでなくても楽しめるネタ盛り沢山となっている。恋人にもハスキー犬を飼いたくなる気持ちをわかってほしい。

まつばらきのこ

性別 女
住所 大阪府
一言 漫画大～好き！



夜と薔薇



もり まさゆき

キラキラの短編集

一言で言うとロマンチックでかわいくてきれい！私、こうゆうマンガが書きたいなと思って本誌に掲載されている「チウレの陽」を書きました。短編ひとつひとつのタイトルの見た目がカッコよくて開くと同じ絵が続いているけど時間がゆっくり流れている感じがする。

この本は古本屋で入手したんですが、帯に書かれた文字が素敵。ご購入の際は是非帯付きを。



薔薇と拳銃



谷 弘児

メガネと全身タイツ

絵の密度がすごい。まっくらです。

章が変わる時に出てくるタイトルの縁取りが豪華でオー！

作中の人たちがほぼ全身タイツのような召し物で、そこがだいぶかっこいい。全身タイツの人がメガネをかけた日にはもうかっこいい。なんでこんなにカッコいいのかちょっと読んでみてください。

全人間には是非全身タイツを着ていただきたいですね。



薔薇だって書けるよ

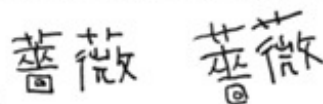


売野 機子

失恋が大好き

失恋マンガと短編集が好きです。薔薇だって書けるよは失恋マンガが多い短編集。ささささいこう！そのうえちょっとアブノーマルな感じもあり… たたたたたらん。それに装丁。ちょっとちょっと透けてる紙に印刷してあって後ろの薔薇の写真が窓の向こうに透けて見える。かっこいい！是非カバーを

はずしたりつけたりして楽しんでください。



さうじ

性別 お酒
住所 サイレンと猫
一言 恋人にマンガなんかすめたくない。



最初だけ！
最初だけ！



神戸在住

木村紺

額縁に仕舞っておきたい漫画第一位

神戸に行ったことある？ こんな感じらしいよ！……そんな滑り出しならマンガに疎い彼女にもきっと薦めやすい。「神戸在住」は神戸に住む、ごく普通の大学生の生活を描いたマンガだ。きわめて精緻な線で描かれたまるで絵画のような一頁はきっとシャレオツな彼女にも気に入っていただけるだろう。しかしそれだけではない。このマンガの最たる利点は、今の世にのさばってはびこる「日常系」マンガへのパッチテストとなる点なのだ。



LIAR GAME

甲斐谷忍

お金の大切さをまなぼう

「あのドラマの原作だよ！」殺し文句である。女子はドラマに弱い。というかそれ以外には強力なATフィールドを展開しているから、攻め処がそこにしかない。このマンガには読んで欲しい点が山程ある。バカ正直は良いところも悪いところもある。人を簡単に信じない。人間いつでも騙される覚悟をしておかなくてはならない。お金は大切。消印の無い配達物は開けない。イケメンはいつでもアドバンテージ。オカマはイチモツ持っている。



セクシーボイス&ロボ

黒田硫黄

ぼくはロボ

「あのドラマの」第二弾である。しかも作者の黒田硫黄は女子に絶大な知名度を誇る「ジブリ映画」の「茄子 アンダルシアの夏」の原作者でもある。そちらも併せてお勧めしたい。このマンガの主人公はニコ（セクシーボイス）と言う少女で、彼女は実に人回しが巧く頭が回る。男の「分かって欲しいところ」を絶妙に刺激してくる。そこを彼女には学んで欲しい。と言うのは建前で「私めはあなたのロボでございます」との忠誠を示したい。

恋人に読んでほしいマンガ⑦

うんこ朗



ひつこいんだから

中崎タツヤ

違う大人

中崎タツヤの漫画にたびたび出てくる変な男女。夫婦だったり独身だったり愛人だったり。自分が子供の時に不信感を抱いていた思ってたのと違う大人に自分がなった時の心の慰めになるはず。きっと自分と付き合うような女の子だからそんな大人なはず。ヤラシイフンイキの中、おしりの拭き方とか宇宙連合について話してみたい。そうゆうくだらないけど楽しそうなきっかけのための一冊。



ちるちる旅行記 インド編

ねこちる

病気の時に読んでもる本

ねこちる夫妻がインドを旅する内容。変な人間の多さに世界の広さを感じる。自分がインフルエンザの時になぜかいつも枕元にあるマンガがコレ。体が病気なのに読んで面白いのは、病気の自分と周波数が合っているはず。本棚のおかゆです。インドの人々の見た目が汚かったりするの自分を見てもみたいで安心。ただ、今ここに「病気の時にいつも読んでもる本」ということを書いたので、僕が持つてる本は菌だらけなのが発覚して貸せない。



林光黙作品集 斬華抄

林光黙

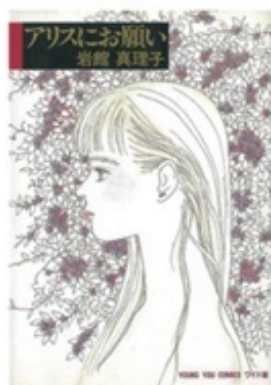
キラキラした紙の束

9年前に初めてこの「キラキラした紙の束」を家に持って帰りたいと思って装丁買いした本。背表紙からして綺麗でずっと見ていたい。カバーの色合いだったり、タイトル下の細い金の線で書かれてるお花だったりがかっこイイ…。開いて見ると韓国の作家さんなので効果音がハングルで描かれている新鮮さ。ストーリーはいまいちわからないけど gorillaz に似てるなという印象。タマランが詰まってる一冊。

うんこ朗

性別 男
住所 砂利ヶ丘
一言 バクシーシハシシウッシッシ

愛は玩具じゃない



アリスにお願い

岩館 真理子

漫画故に美少女論

只カワイイだけの女の子とは違う女生徒サスペンス。美しい容姿に大人びていて意地悪で特別な存在のアリス。その魅力に女子達は憧れていた。アリスは美名子のことが好きで仲良くなりたかった。愛が欲しい孤独な美名子の為にアリスは5年前の事件の秘密に鍵をかける。普通の女の子のような学校生活も恋も…もう何もかもを諦めているかのように冷めているアリスは永えの花となる。残酷で悲しい衝撃。けどどうしてか好きな作品。



きみは3丁目の月

岩館 真理子

ブルーやレッドにもなる心

こういう女って面倒くさいよな～と言わずに頑張ってみてお願いよといいたくなる作品。いつも自分を守ってくれる大切な人を取られて凄く淋しい気持ちや、我儘、意地悪にもなってしまう言葉や態度に共感する。素直になれない。挙句の果てキレてしまう。それには、どうしてもな訳があった「静かな訪問者」。愛人の娘達が次々現れる話を大人童話に描いた「クリスマス★ホーリー」も収録。季節感もロマンチックでホッとする三作。



谷仮面

柴田ヨクサル

登場人物たちがユニーク！

これは面白い！ギャグラヴコメ漫画。抵抗ありつつ読み進むのは谷君が気になってしまうからだ。何故？仮面をつけている。何故？仮面にふれない？秘する謎。顔放棄の谷に学ぶ生きる意味を知ることになる。格闘や露骨な描写有。ん？これ自分で選んでないでしょ？うむ。R仮面からこの作品を知り。感謝！ここは岩館漫画「アマリス」紹介予定が谷仮面推し。笑えるところ、すれ違いの二人は谷仮面と似ているので両方読んで欲しいな。

白雪サラ

性別 女
住所 雪国生まれの遠征
一言 美と笑いのセンス

恋人に読んでほしいマンガ⑨

きゃべつ

よ、
読めば
いいじゃん！



25時のバカンス

市川春子

何度読み返しても発見がある

読めば読むほどこの漫画の世界にどっぷりとのめり込んでしまう。何度読んでもまた読みたくなる中毒性の強い漫画です。短編が三話収録されており、それぞれSFであり、繊細であり、多少グロさもあり、クセもありつつ、ハマった人にはたまらない作品になること間違いなしです。今まで数人に薦めましたが反応が今イチだった事だけが悔やまれますが、私的には今最もおすすめの漫画である事には変わりありません。



純情パイナ

尾玉なみえ

Don't think, feel!!!!!!!

漫画界一の奇才、尾玉なみえのデビュー作である。内容的にも少年誌ギリギリ（アウト）なコレを週刊少年ジャンプに掲載した編集部は拍手。少年漫画の王道であるヒーロー物であり、かつ不条理さを孕んでいるという斬新な漫画。残念ながら打ち切りという形で連載が終了したものの、そこから伝説が始まったと言っても過言ではない。あーもう、ごちゃごちゃ御託並べたくないんだよ！とにかく読んで！！それでハマっちゃって！！



ロマンス

ウィスット・ポンニミット

誰に勧めても間違いなし

女子に薦める漫画というのは我々男子には中々とハードルの高い課題であると思われる。が、しかし、このタムくんの漫画に関しては100%ウケがいい！間違いなし！内容としては、素朴で優しいタッチの絵に、これまた優しい恋愛ストーリーの短編が八話。ウケないはずがない。心が疲れたときや、優しさに飢えたときの処方箋にもなる。ああ、タムくんの優しさに包まれて眠りたひ・・・。

きゃべつ

性別 男
住所 とくしま
一言 意外と萌えます

これなんか
どう？

スチャ



化け猫あんずちゃん

いましてたかし

化け猫のノマドライフ

「恋人にいましてたかしはないだろう」という声も聞こえてきそうだが、この作品は「ちびまる子ちゃん」とか「ドラえもん」といった児童向けマンガ路線で描かれたものなので女の子も抵抗なく読めるはず。クンチャンマンガでありながらも、32歳で無職の化け猫が主人公であり、ほのぼのとした中に漂う哀愁がなんとも味わい深い。自転車を盗まれた時のやり場のない怒りを恋人と分かち合いたい。



栞と紙魚子の生首事件

諸星大二郎

奇想マンガの傑作

「恋人に諸星大二郎はないだろう」という声も聞こえてきそうだが、諸星大二郎が女性読者を意識して描いた初の女性向けマンガなのできつと大丈夫だろう（投げやり）。女性向けかどうかは別としても、文化庁メディア芸術祭においてマンガ部門優秀賞を受賞した実績は伊達じゃなく、デビュー当時からブレることのない怪しげな画風と、豊富な知識に裏付けされた独特なユーモアが合わさった奇想マンガの傑作。わかってくれ！



絶対安全剃刀

高野文子

色々な意味で自慢の一冊

やっぱり異性に貸すのなら「俺ってセンスいいだろ？」ってところを見せつけたい。そんな欲求を満たしてくれる一冊。まず『絶対安全剃刀』という身も蓋もないタイトルにやられる。ページを開くと最初の『たあたたあと遠くで銃の鳴く声がする』でまたやられる。続く作品もいまいちおもしろい。「こんなのどうですか？」というマンガへの挑戦が、そのまま読者への挑戦になっている。こいつをバシンを貸して、ビビらせてやりたい。

第三回新脈文芸賞

応募者の全員が
受賞者になれる
まったく新しい
近未来的文学賞

締切日 2013年2月13日

第三回新脈文芸賞のお知らせ

山脈では新しい才能の発掘と、手軽にページ数の増強をはかる為、文学賞を主催しています。
我こそはと思う小説家の参加をお待ちしております。

【第二回新脈文芸賞】

公募要項

賞品：なし

締切： 2013年 2月 17日

発表： 3月発刊予定の『山脈Vol.6』にて

1.応募原稿は完結しているものに限る

2.文字数制限はとくになし。

3.ジャンル制限もなし

4.タイトルとペンネームを記載してtxt形式で送ること。

送り先：jii_syuppan@mail.goo.ne.jp まで

メールのタイトルは「新脈文芸賞応募作品」をお願いします。

作品を受けとり次第、確認として3日以内に返信します。返信がない場合はお手数ですが、もう一度メールしてみてください。

新脈文芸賞は「応募された作品全てに無条件で賞をあげる」というバカみたいな文芸賞である。
おそらく商業雑誌ではまずできない読者へのプレゼントだ。

「実力で賞をとらないと意味がない」という人もいるだろうけど、ひとつわかって欲しいのは「書かないことには実力はつかない」ということだ。おもしろい、おもしろくないに関わらず小説を一本書き上げるということはかなりハードなこと、書いたからって、人がちゃんと読んでくれたりするとは限らない。

新脈文芸賞は「小説を書いてみたい」という人の背中を押すためにある。

応募してくれれば、とりあえず編集部が読んでくれて選評までついてくる。その上「新脈文芸賞」という名の「よく書き上げましたで賞」がもらえてしまうわけだ。

書き上げた小説を個人的に発表する時も「新脈文芸賞受賞作品」と書いておけば、何もないものよりかは、読まれる可能性はいくらかあがるだろう。

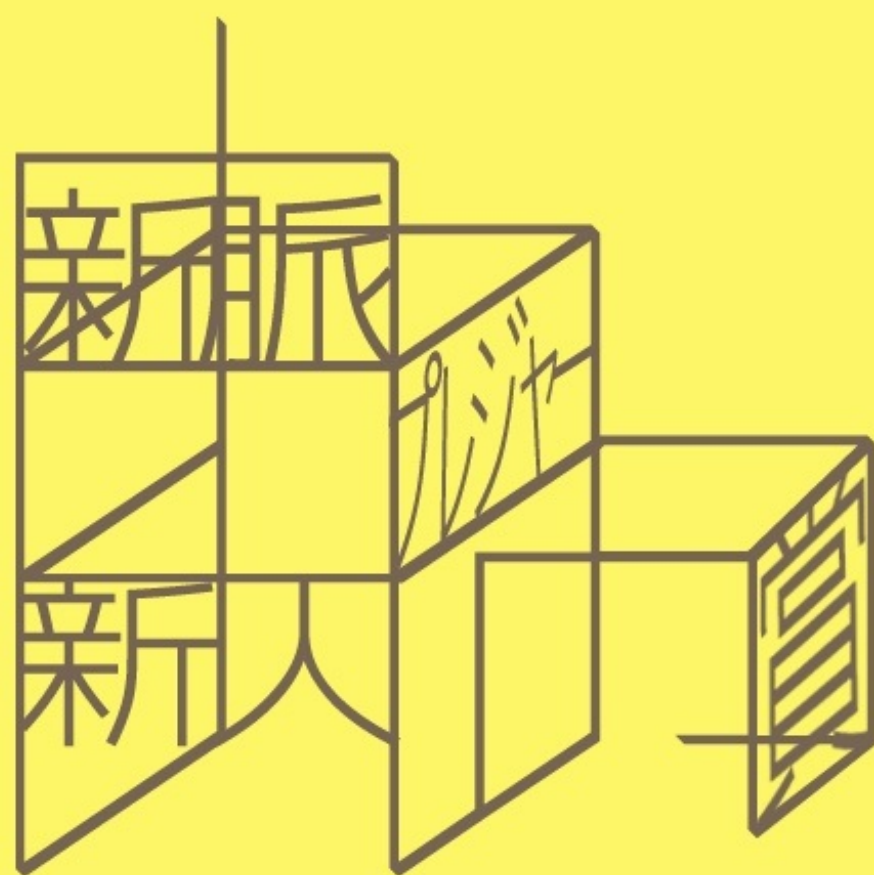
それにあなたが「電子出版の雑誌に小説を投稿して賞をもらった」という行動においては、なにひとつ嘘はないのだ。

さらに何回か参加して、あなたの新脈文芸賞受賞作品がたまと、表紙や解説などのついた一冊の電子書籍にしてプレゼントするという企画も進行中です。あなたが小説書きなら参加して損をするということはないはず！

というわけで、山脈は君の作品を待っている！

応募総数 769294作品!

(応募期間 2012年11月29日～12月1日)



次頁より各賞発表!

奨励賞

ピーツ

「アンブレイカブル」

森田将棋 (27) 埼玉県 男性

記憶を失った男が目覚めた、一見何の変哲も無い病院。ある日、男は狂気の爪跡を見つける。それは、地獄への入口だった。



プレジャーコミック奨励賞

賞金2兆円

漫画家

西条ひろ先生

臨場感溢れる心理描写がうまい。主人公の頭が勝ち割られたときは、こちらまで頭痛がした。あとは女性を魅力的に描こう。

代筆家

煙山時点先生

ヒロインの睫毛を抜く描写に8ページ使うフェティシズムは買う。ところどころでこの原稿票の花っぽい匂いがするよ? 何してたの?

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

序盤のミステリーのような展開から一転してガンダムがただ街を破壊する実験マンガになるのがおもしろい。ただ著作権は守ろう。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

自然の素材の味を活かした、目にも涼しい作品です。蕩ける様な腐肉のゾンビが芳醇なコクを醸み出しています。ご馳走様でした。

プレジヤークミックス特別賞

賞金8兆円

漫画家

西条ひろ先生

まさか「東京」という言葉が伏線だったとは……。現代、原始時代、近未来と舞台を次々に移る、その背景画の美しさにも注目だ。

代筆家

煙山時点先生

構成が非常にきっちりしていたがラストが2億年後というのは少々唐突に思われる。あと君、もっと多細胞生物を描く練習をしよう。

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

シュールな作品かと思いきや3ページ目からガンダムが登場して街を破壊するだけのマンガになるのが興味深い。流行ってるのかな。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

私は、地中海沿岸で取れたヴァージンエキストラオリーブオイルしか使いません。彼女は正にヴァージンエキストラです。



「ペンで描くやさしい人物画」

光野戦士(36) 子宮 男性

東京に行くといったまま行方不明になった弟を探しに出かけた少女は、不思議な生き物になってしまった弟を発見する。



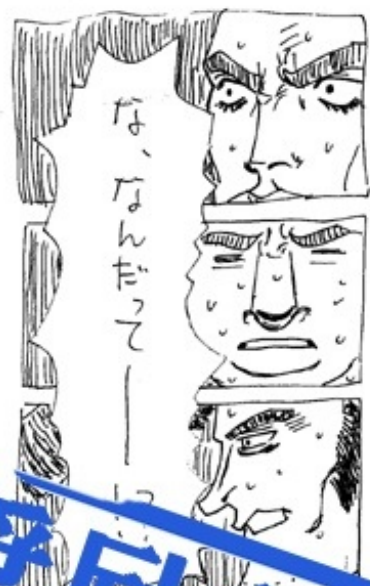
特別賞

プレジャーコミック奨励賞

賞金2兆円

「こちら名探偵(株)」

おおひろまこと (30) 北海道 男性



奨励賞

寝台特急「おまち」で起こった惨劇。刹那の犯行時間、密室、消えた凶器。本格ミステリがここに開幕！

漫画家

西条ひろ先生

最後のトリックに騙された！ 見事としか言いようの無いストーリーにグイグイ惹き込まれる。キャラクターも魅力的。

代筆家

煙山時点先生

ものすごいトリックだった。笑いあり涙あり、最後にはじんわりとあたたかい気持ちになれる。なのに20人以上死んでる。ふしぎ。

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

名探偵といえど人の子。性欲には勝てないんだなと実感する官能的な作品。複雑なカラクリを使ったエロシーンには愚息もにっこり。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

テーブルクロスは紅く染まり、ディッシュには新鮮な、肉……。匂い立つような、色彩の使い方が実に食指をそそられます。

プレジャーコミック準大賞

連載
チャンス



小学生でプロリーグに登録した天才シューター大海尾緒。世界大会への切符を賭け、法外な金額で世界のエースを引き抜くチームに戦い勝つそして世界へ。

漫画家

西条ひろ先生

王道サッカーマンガ。しかし、サッカーの起源について33Pも割くのは考え物。人物の動く絵は全て蟹股なのも食傷気味。

代筆家

煙山時点先生

サッカーでチェンジアッブは投げられない」と思っていたけれど世界にはユニークなルールを採用している国があるんですね！

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

敵チーム選手のすべてができちゃった婚によって生まれた子どもという設定がとても現代的。若者よ、コンドームを使おう。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

舞台はイタリア！フィレンツェの3つ星レストランで修行した私には懐かしくあります。食事なら「ダ・イル・アニータ」がお勧め！

プレジヤークミックス 慰謝賞

8万本

漫画家

西条ひろ先生

作者の半生を描くマンガの投稿は多いが、作者の写真を送ってこられたのは初めてです。現在は更に進行している模様です。

代筆家

煙山時点先生

心情があまりにもリアルで涙無しには読めない。私の元にもカホちゃんが現れてそっとカツラを被せてくれたらいいのに！

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

フジファブリックの名曲「若者のすべて」をオマージュした作品。花火のように散っていく髪の毛がはかない夏を演出している。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

コック帽をかぶると蒸れるので、私も気をつけたんです。



「若ハゲのすべて」

木村ウコン (24) リーフ21 男性

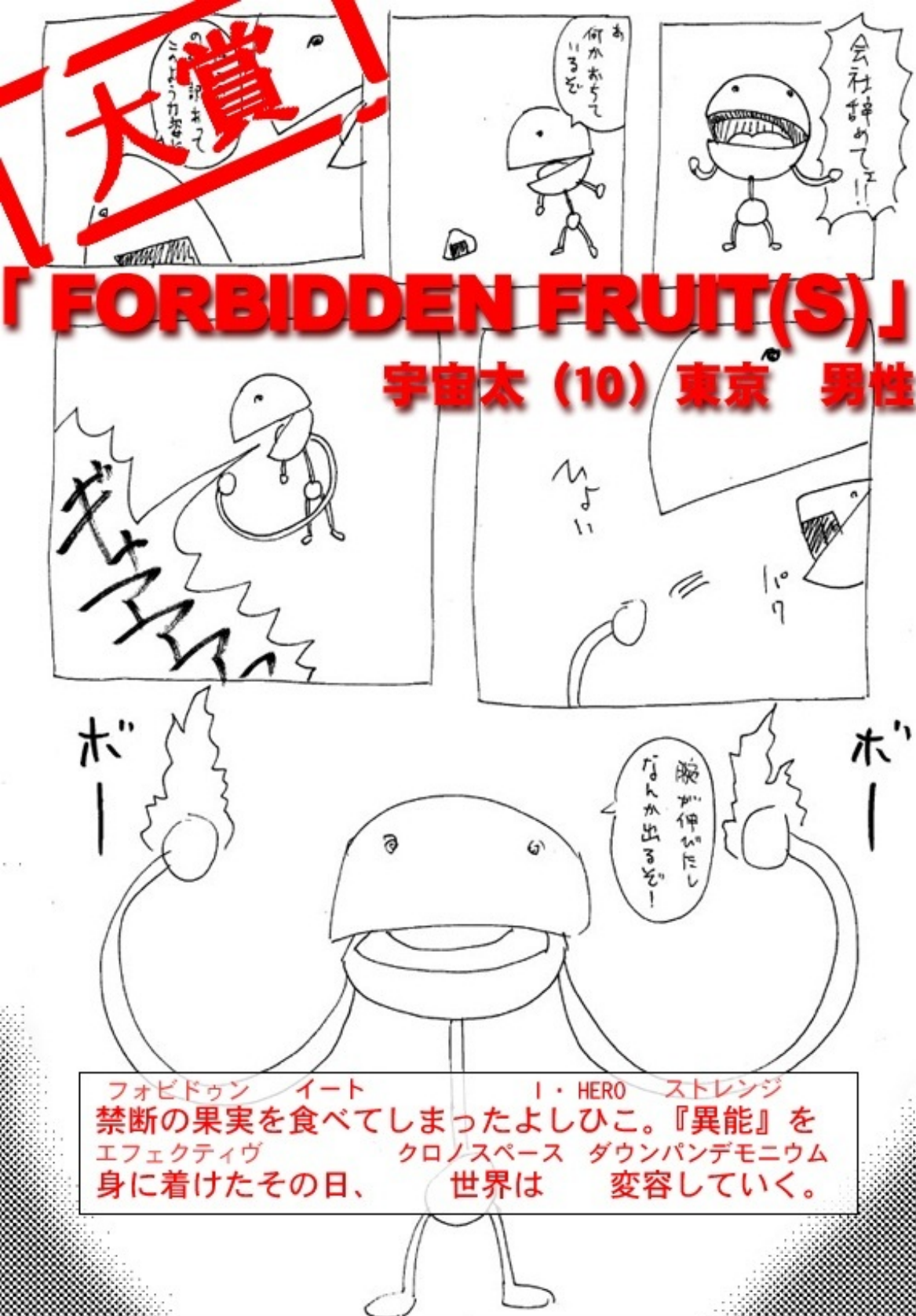
私は
若ハゲである

おつー
若ハゲに
対するこの世界の
態度はヤバい

慰謝賞

木村は青春を増毛に費やした 트렌ディエンジェル。若ハゲ好きの女の子は居るのか？スラップスティックうつコメディ。

プレジャーコミック大賞 取締役会長



フォビドゥン イート I・HERO ストレンジ
禁断の果実を食べてしまったよしひこ。『異能』を
エフェクティブ クロノスペース ダウンパндеモニウム
身に着けたその日、 世界は 変容していく。

漫画家

西条ひろ先生

大賞受賞おめでとう！
絵、ストーリー、セン
ス、全てが全作品中飛
び抜けていました。す
ぐにでも単行本化した
一作。

代筆家

煙山時点先生

『筆ペン』に82文字も
振り仮名つけようとした
のは偉い。必殺技を撃っ
た後の血糖値の増加シー
ンをもっと劇的にしてみ
よう。

ジャーナリスト

吉本タイガー氏

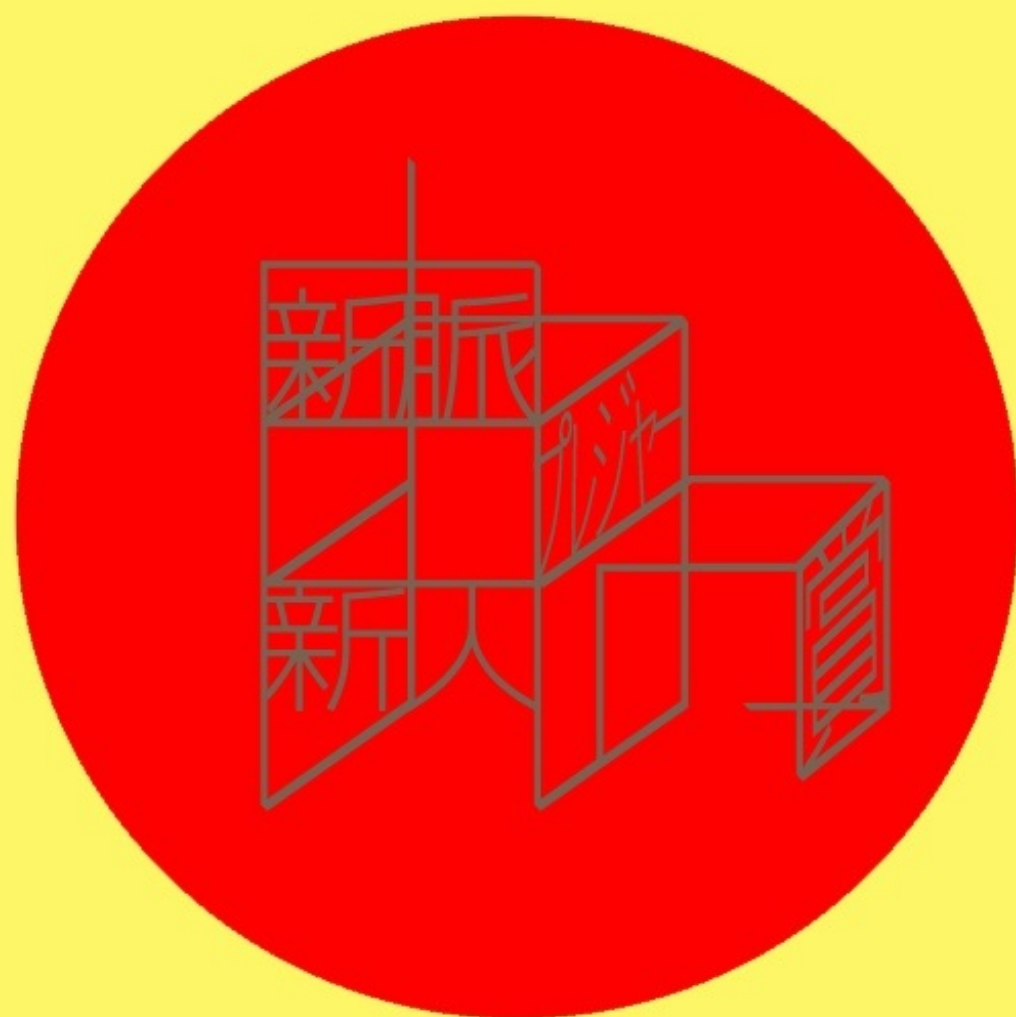
この前、ひさしぶりに
松屋にいった牛丼を食
べたんだけど、つゆだ
くって注文したら、つ
ゆが多すぎて美味しく
なかった(怒)。

イタリアン

沼袋隆也シェフ

『忘れえぬ過去の果実』
はオリブオイルで和え
てサラダ風に、
『飢え渴れた未来の果実』
はジャムにすると美味し
いと思います。

受賞された皆様、おめでとうございます！



次回の募集は2500年1月元旦～2599年2月末日！

キミの力作を待ってるぞ！！

揺籃期の終わり

ふみふみこを語る

朱堀 裡乃進

処女作品集、である。

そこまではいい。誰だって最初は初めてだ。しかしそのタイトルが『女の穴』で表紙にはスカート
をたくし上げる女子高生が描かれている、とくればもうそれは看過できない。

どだいこういうのは引かかった方が悪いと決まっている。仕方ないな、と『女の穴』を手取る
と数冊の本と共にレジに持って行き、私はこう言った――「それだけカバーお願いします」。

あまりに直球な表紙について中学生のようなことをしてしまったが、兎にも角にも『女の穴』は我が
家にやってきた。それから1時間後、そこには半勃起し「ふみふみこ」という名前を深く記憶に刻み
付けた男が一人。

多少脚色してあるものの（実際は6割5分勃起していた）、これが私とふみふみことの出会いであ
った。

ゆるふわキュートな絵柄が織り成すストーリーは捉えようのない夢まぼろしのようでいて、確たる
腥さを孕んでいた。それは現実でも虚構でもない「どこか」に属していた。

もしあなたがおとなならば、その場所を知っているだろう。そう、そこは「繭」だ。揺籃期が過ぎ
行かんとする時に自らを覆ったあれだ。ふみふみこは既に押し破ったその繭の糸をそっと織り込み物
語を紡ぐのだ。

この文章を書いている2012年11月末現在「ふみふみこ」単体名義の単行本は3冊が刊行されてい
るが、そのうちのひとつは最早その事を隠す気もない――『ぼくらのへんたい』だ。

まさしくふみふみこが描くのは『へんたい』であり、作品の中には様々な形でそれが顕れる。『へ
んたい』という言葉にも様々な意味があるが、今回はmetamorphosisとしての在り様について見てみ
よう。

ふみふみこ作品においてたびたび登場するのが『幻想との対話』だ。

それらは般若であったり、自分の書いた漫画のキャラクターであったりする。無論それらは自らの
意識との対話に他ならず、そこに顕れる意識は自分が目を向けたくないもの、即ち「影」だ。

揺籃期とは言い換えればこの「影」から隔絶された時期である。光であふれた「繭」を破り自分に
影があるという事実を受け入れたとき、人は自我というものを真に獲得するのだ。対話はそれそのも
のが『へんたい』なのである。

一例として『女の鬼』を見てみよう。この物語の主人公である萩本小鳩は中年の古文教師、村田に
恋をするが、その教師がゲイであるということを知り涙する。その前に「鬼」が現れる。

小鳩はそれを「私」と認めている。しかしそれは客観的な理解であり真の意味でのそれではない。
鬼の欲望の赴くままに振る舞い、必然として訪れる村田からの拒絶の果てに鬼の面を自らつけたとき
それは果たされる。

般若の面を被って見る幻想の中で繰り広げられるのは「繭」の破壊だ。村田に恋する原因であっ
た「小鳩」という名前を褒められたときのこと、そこから般若が生まれるまでを追いつ、般若の面をつ
けたまま涙する小鳩の元へ豚の姿の村田が現れる。

そこで語られる般若の意味は「最もつらく苦しい状態」であり、それを「呪い」と形容する。豚の
キスでそれが解けたかに見えるが、夢から醒めてみるとそこにあるのはこぶという形で顕れた鬼の角
であった。この夢を経て「鬼」は呪いから実態を持つ痛みへと変わったのだ。

それからの全ては揺籃期の象徴たる「小鳩」との決別だ。髪を切り、想いを屈折せずに伝える。そ
して、その「想い」がいずれ薄れるやもしれぬという事を受け入れる。そこで繰り返されるのは「世
界はこんなに大きいよ」というフレーズであり、そこで生き抜くためには「鬼」でなくてはならな

いいのだ。

一方『さきくさの咲く頃』のそれは『女の鬼』と明確に趣を異にする。

この一冊を語るにあたっては帯より三箇所を引用しよう――『レンズ越しに見ていた、いとこの暁生と恋仲になるが、なかなかうまく行かない』『また子供の頃のように、無邪気に笑いあえる日が来ることを望みながら』そして『夢のように終わる、三人の青春』。

さて、これから『女の鬼』との決定的な差異がお分かりだろうか。

言うまでもなく「レンズ」は繭である。主人公である澄花は父親の遺品である双眼鏡でどこかを覗くのが趣味（引用はしなかったがこれも帯に書かれている）であり、その対象にいとこである暁生の家も入っている。

そうして長年見つめ続けてきた暁生と付き合うことになる、ということ、それはつまり暁生自身ではなく澄花のアニムスと付き合うということである。

ご存知でない方には、アニムスとは女性の中にある男性像とでも思っていたければよいだろう。幼なじみかついとこであっても、澄花と暁生の間には隔絶があった。それは澄花が自ら作り出したものであり、暁生を「レンズ越し」の存在、アニムスに留めるためである。

しかし一度それが取り払われてしまえばそこにいるのは触れられて、くちづけられて、肌を重ねられる「人間」である。アニムス、即ち自分自身の姿を求める澄花とうまくいくはずはないのだ。

そして訪れる別れの際、澄花は問いかけられるのだ――「俺をどうしたかってん」と。

もちろん答えはアニムスとしてあってほしい、言い換えれば自分の理想と違わぬ存在になってほしいということである。しかし澄花はこのことに気付けない――否、認めない。繭の中では目を逸らさずにはいられないのだ。

更に言えば、もうひとつ目を逸らさねばならぬ理由がある。実は澄花が持っているのはアニムスだけではない。その対となる理想の女性像、アニマをも所持しているのだ（ユングの定義ではアニマは「男性の中の女性像」であるが、これ以上に適切な言葉が見つからなかったためここではこれをアニマと呼ばせていただく）。

それは暁生の双子の姉である千夏である。といっても、彼女は「レンズ越し」ではない。しかし澄花にとって容姿が端麗であり頭の出来も違う彼女はもはや「地続き」の存在として見られていない。言い換えればそこに「人格」を見出しておらず、その点において決定的にアニマなのである。

友すらもアニマとして見てしまうというその構造は即ち真に友を持たぬということである。この事実もまた致命的なものであり常に目を逸らさねばならないほどだ。しかし千夏は自らがアニマであることを察しており、それが最後には跳ね返ってくることとなる。

彼女が伸ばしていた髪を大学に入ってぱっきりと切るという行為には「女性」の象徴である髪を失うことによりもはやアニマではない、という意思表示を見て取ることもできるだろう。

その証拠に、高校を卒業して初めて千夏と会ったその晩、澄花の孕む矛盾が自ら描いた漫画のキャラクターとして目の前に現れるのだ。

暁生――おそらくはアニムスと実態が半々の――を思いながらの自慰のさなか、全ての答えが告げられる。「ぜんぶぜんぶひとりよがりだから」と。

それに「せやねん」とだけ答えたとき、澄花の繭はもう殆ど残っていない。しかし、揺籃期は終わるものに対して一切の手心を加えない。きらきらと光る糸の一筋も残さぬために、澄花は双眼鏡を手に『取らされる』。

覗くそこに見えるのは暁生と千夏、澄花の慣れ親しんだ高校時代の姿をしたアニマとアニムスだ。今までと違う点は覗くだけではなく会話ができるようになっていること。

もはや理想でいられなくなった二つに向けて澄花は「またあそぼうね」と声をかける。ひとりよがりな理想としてではなく、「子供の頃のように」一人の人間としての二人に向けて。

そしてアニマとアニムスへは、こう。

「もう　春も終わりやね」

こうして物語とともにアニマとアニムスと澄花、三人の春は終わる。

さて、始めの問いを覚えておいでだろうか――――いったい、『女の鬼』とこの物語はどう違うのか？

賢明なる読者諸氏にはお分かりの方も多いと思うが、答えは「何かを得たか」だ。

小鳩は鬼を自らの一部として得た。しかし澄花は双眼鏡を、アニマを、アニムスを、ただ捨てただ

けた。

アニマとアニムスはともにラテン語で「魂」を意味する。彼女の魂は欠落し、まだ埋められていない。その欠落は紛れもなく『へんたい』であるが、まだ終わってはいない。

しかし物語として非常に美しく終わっているのは偏に作者の技量によるものであり、『青春の終わり』を描ききったからといえよう。

おわりに

『へんたい』についての論考、いかがだったでしょうか。

本来であれば現在刊行されている3冊全てに触れるべきだったのだろうが、『ぼくらのへんたい』は初の続き物コミックスということもあり、登場人物たちの『へんたい』を今の段階で語ることは少々性急すぎると判断した次第である。何卒ご容赦願いたい。

性急といえどもそもそもこの原稿を書いている2012年11月よりふみふみこの単行本が3ヶ月連続で刊行される（12月に刊行される『そらいろのカニ』の発売日はこの雑誌の刊行日の翌日、12/24である）というのに、それを読まずして考察に走ったのも性急といえ性急であるといえるだろう。

しかし、堪え性のない私には編集長から「漫画」という餌をぶら下げられてふみふみこの名を出さないという選択肢はなかったのだ――溢れんばかりの気持ちを押し殺すことなどとても！

そんな気持ちだけが先走った拙文ながら、ふみふみこという作家の持つ世界と表現力の素晴らしさの一片でも伝えることが出来れば幸いである。そして、残りの塊はぜひ単行本を買ってあなた自身で感じていただきたい。

チウレの陽

CHIURENOHI

ZHWEKIBINOHI

のちの日

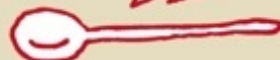
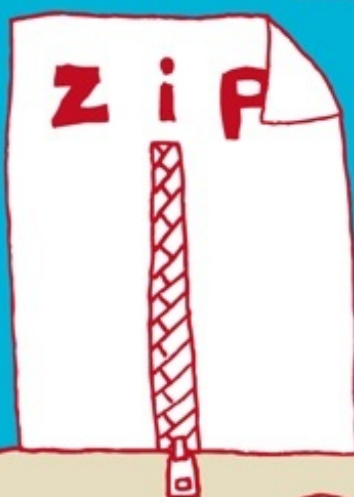
太陽をさがしに
たびにでます。

フウレ





CHIURE.zip



password



パスワード:



CHIURE.zip









石油王です。

私はチウレ
太陽をさがしてるの。

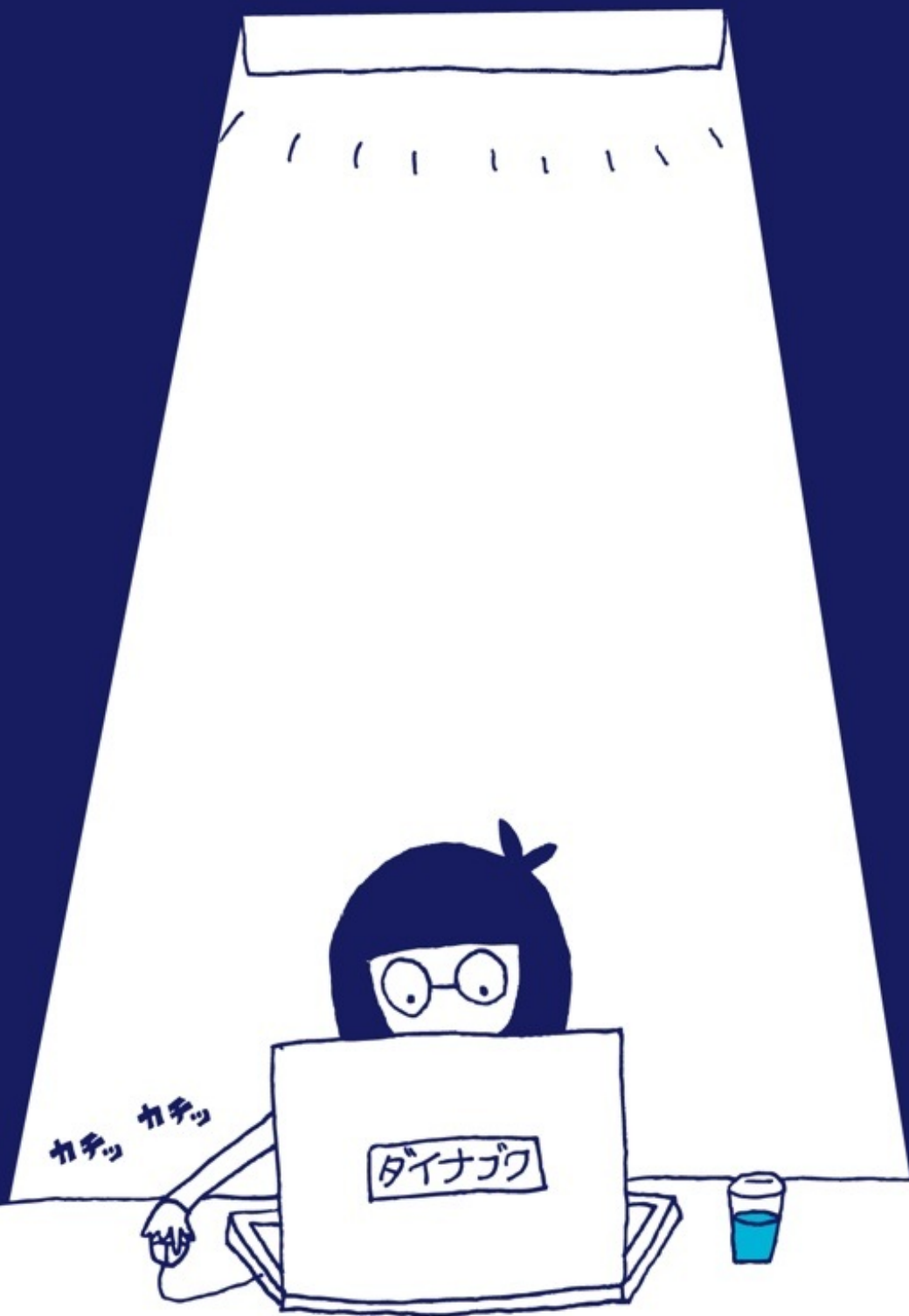


DEKITA



DEKITA







「廃棄（す）てるひとびと——博内和代と遠藤浩輝 午後の翳り」

廃棄されたものは埋もれるのを待つだけなのか。

大友宗麟

「廃棄」という観点から、二人のアフタヌーン四季賞作家について短くまとめたい。
アフタヌーン四季賞と言えば、王欣太（受賞はGONTA名義）、五十嵐大介、篠房六郎、土田世紀などを輩出しており、レベルの高い新人賞として定評を得ている。

博内和代と遠藤浩輝。
粒揃いの歴々のなか、特に傑出しているわけではないが、この二人のマンガは読んだものに、何か不快な違和感を刻み付ける。

「棄てられた世界 遠藤浩輝」

遠藤浩輝は1995年『きつとかわいい女の子だから』で四季大賞を受賞した。
遠藤浩輝は「生きることの痛み」を表すために「体の痛み」を露骨に顕す。見る人によっては眉をひそめるほど、その描写は痛々しい。しかし痛みとは、生への執着の象徴であろう。故に、痛みから逃げた人間は死ぬ。「痛み」を真正面から、まざまざと。主人公を我々の身近な「なりたいもの」に据えては、えげつなく汚し、耐え難い痛みを残し、無残に棄てるのだ。「遠藤浩輝短編集1」に収められている、「カラスと少女とヤクザ」に顕著である。

ヤクザと心を通わせた少女は死ぬ。死んだ少女はカラスに啄ばまれ、カラスの羽ばたく音を聞いて、長らく被っていた、ヤクザという殻を破った男。強い殻を失った少年は、あの日羽ばたけなかった小鳥の代わりに飛ぶ。

彼の言う愛は盲目的で、博愛と言う他無い。しかし神の、そして楽園の欺瞞も知ってしまったいる上で、やや厭世的な描き方をする。

遠藤浩輝の代表作（と、勝手に言わせてもらう）の「EDEN」は、エデン——楽園を棄てるところから物語は始まる。

爾来、楽園とは禁断の果実を食べてしまったアダムとイブが、追われるものであった。この「EDEN」では、読者のそんな予備知識を褒め称え嘲笑うかのようなエクソダスが用意される。それは正に必然的な逃避であり、世界の廃棄である。（ヘリが来りて脱出せらるる場面など正に空中携挙そのものである）しかし、棄てられるのは日常ではない。ある日、踏み入れてしまった非日常を破壊し、日常に立ち返らせる為の、いわば循環の為の廃棄。

遠藤浩輝の描く廃棄とは、過去への回帰を黙示している。

「棄てられた人々 博内和代」

博内和代は1997年『チャックのある風景』で四季大賞を受賞した。
博内和代は寡作だが素晴らしい作家だ。しかしその知名度は低く、wikipediaにも記載がない（別名義の世棄犬はヒットするが）。

読者に与えられる情報は僅か。しかし、物語の骨子である。読者は何も分からない、亡羊の様で放り出される。捨てられたものが流れ着くのは、どこかの海辺。博多和代名義での最新作（遺作とは呼びたくない）『SEASIDE SOUVENIR』では、捨てられた人々が描かれている。

人は捨てられて、一体どこへ行くのか。何を思うのか。
ガラクタの流れ着く浜辺で、偽装家族を演じ、普段の生活をしてみせる彼らは、「廃棄」てられたものはもともと、何かを自分で動じた結末なのだと、なんとなく悟り出すのだ。

我々がこの世に生まれ落ちてからというもの、最も意義深く棄てるものとは「貞操」であるが、その観念まで捨ててしまったものは最早ケダモノ——犬畜生だろう。

両者とも、容易くセックス描写は描くが、その価値を貶める真似は決してしない。

遠藤浩輝が描く、楽園の、そして極道のセックス&ドラッグとは、日常に付随したなくてはならないものの一骨太なものだった。

博内和代の描く海辺のおとぎ話のセックスメンタリティとは、ひどく純粋で脆く、現実的でない。しかしそれはキャベツから生まれる神聖性を説いているのではなく、特筆すべきものでもない、人の性には恐らく付き物であろうという、蓋然性の現れである。

あって当たり前ものをあえて描く必要はない、そんな、俯瞰した視線の冷たいスーブニール。

棄てる、という行為は神聖で、欲求に囚われない理性的な動機で蠢動する。

それが生物におけるセックスである。

人は廃棄の、日常を。偶像を。理想を。過去を。

何かを得るために。

蛇足

おわりに.....推薦しておいて、こんなことを言うのはルール違反だとは思いますが、じつは現在、博内和代の漫画を読む術は無い。博内和代は、博内和代名義では単行本を出版していないのだ。短編を4つ、同一雑誌に掲載されているながら、である。

なので当然、私の本棚には博内和代が印字された本は無い。少し前までアフタヌーンの切り抜きを所持していたのだが、それも引越しのドサクサでどこかへ棄てられてしまったらしい。

ちょっとこれ本当にアフタヌーンって言うか講談社さんどうなってんですか。十分「博内和代短編集」だせる分量でしょうが、今からでもいいから単行本出して下さい本当に（実はこれが一番言いたかったのだ。）

記憶からも消えてしまえば、永遠に創作物は廃棄されたまま、なのですから。

遠藤浩輝作品

連載作品

- EDEN ～It's an Endless World!～（月刊アフタヌーン1997年11月号-2008年8月号、講談社）全18巻
- メルトダウン（アフタヌーンシーズン増刊、講談社）2002年 連載中断
- 第一話「EPIGONEN」（アフタヌーン3月号増刊 Spring Vol.10）
- 第二話「NEUTRAL SEX」（前編）（7月号増刊 仲夏号 Vol.12）
- 第三話「NEUTRAL SEX」（後編）（9月号増刊 初秋号 Vol.13）
- 判定試合上等!（メカビ、講談社）2006年Vol.1 - 連載中
- オールラウンダー廻（イブニング 2008年No.24 - 連載中、講談社）

短編集

- 遠藤浩輝短編集1
 - カラスと少女とヤクザ（1996年、月刊アフタヌーン、講談社）
 - きっとかわいい女の子だから（1996年、月刊アフタヌーン、講談社）
 - 神様なんて信じていない僕らのために（1997年、月刊アフタヌーン、講談社）
 - 遠藤浩輝短編集2
 - プラットホーム（1996年、月刊アフタヌーン、講談社）
 - 女子高生2000（1999年、アフタヌーンシーズン増刊、講談社）
 - Hang（2000年、アフタヌーンシーズン増刊、講談社）
- 読み切り（単行本未収録）
- catch as catch can（2003年、週刊ヤングマガジン2号、講談社）
 - Hang II（2006年、月刊COMICリュウ、徳間書店）•前編（11月号 Vol.1）•～ズレ違い～ 後編（12月号 vol.2）■初出『日本ふるさと沈没』（2006年、徳間書店）の「Sink←→Float（すれ違い）」に加筆（2006年、徳間書店）

博内和代作品

博内和代 名義

- 「月刊アフタヌーン」（講談社）掲載

- チャックのある風景（1997年）
- 外環視点（1998年）
- バナナ チ○コ（2000年）
- SEA SIDE SOUVENIR（2002年）

世棄犬 名義

単行本（すべてR18）

- DOG MAN（1996年、司書房）
- DOGMAN SCRAP（2005年、コアマガジン）上記の再録本
- 世棄犬廃品集Ⅰ（2008年、メディアックス）
- 世棄犬廃品集Ⅱ（2008年、メディアックス）

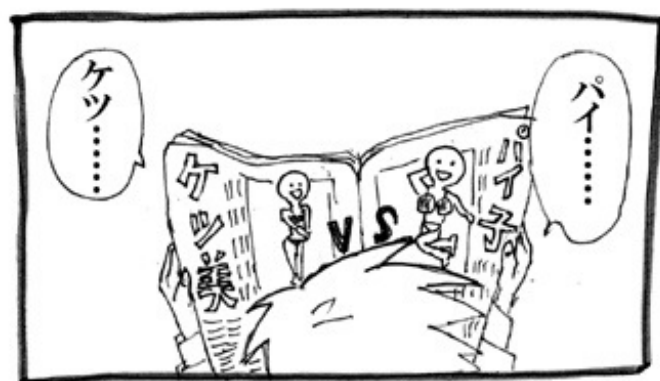
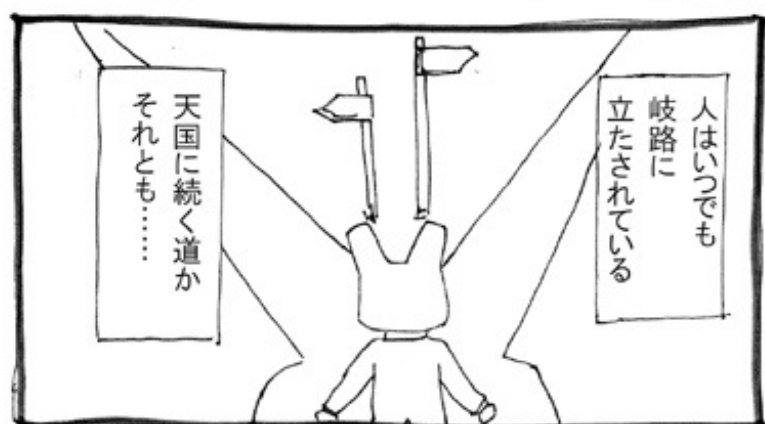
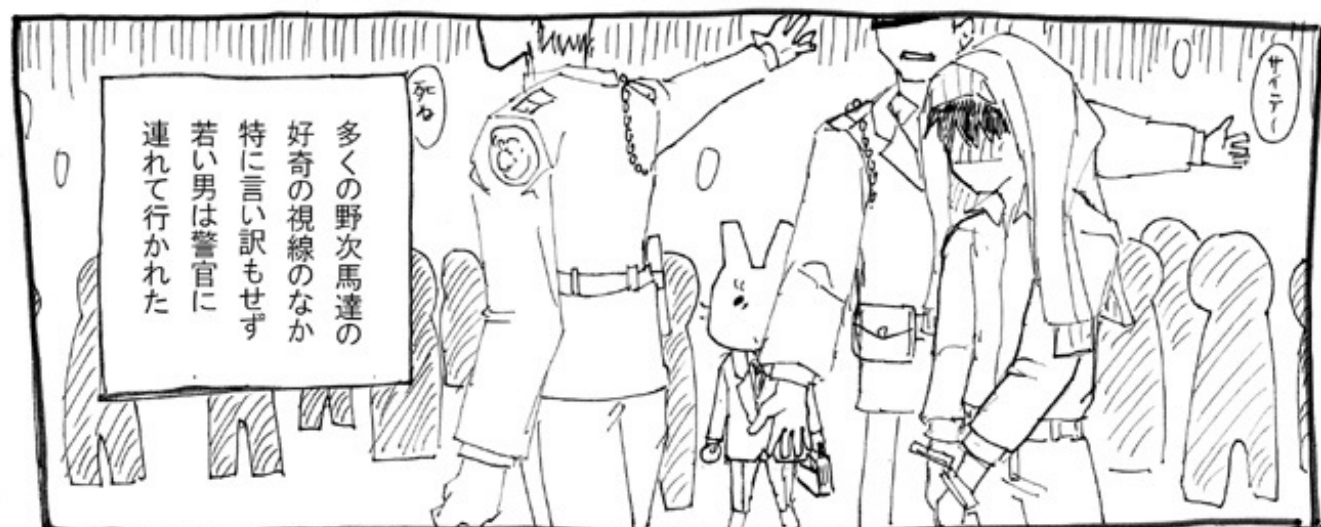


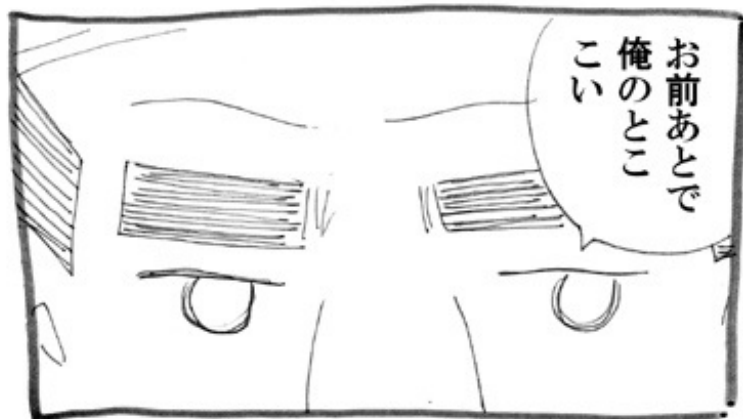
カザギ 負いし

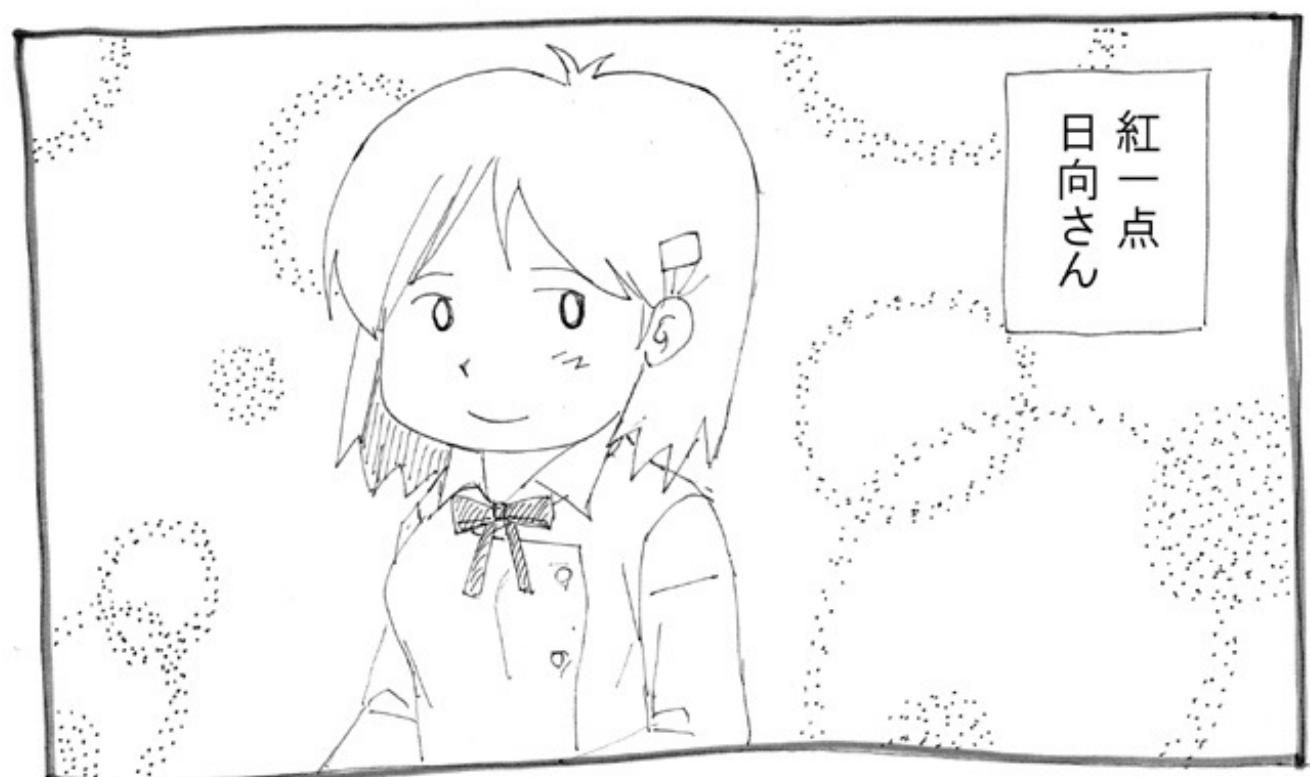
課のヤマ

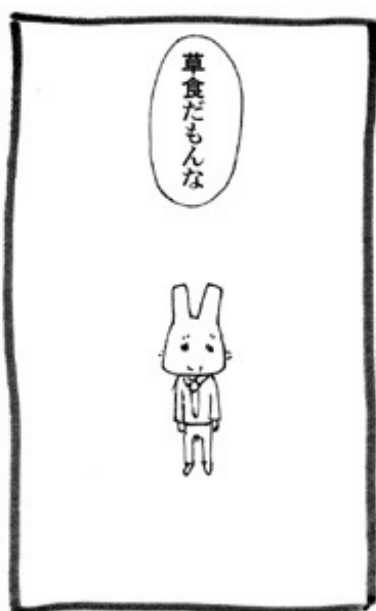
伊東マクション

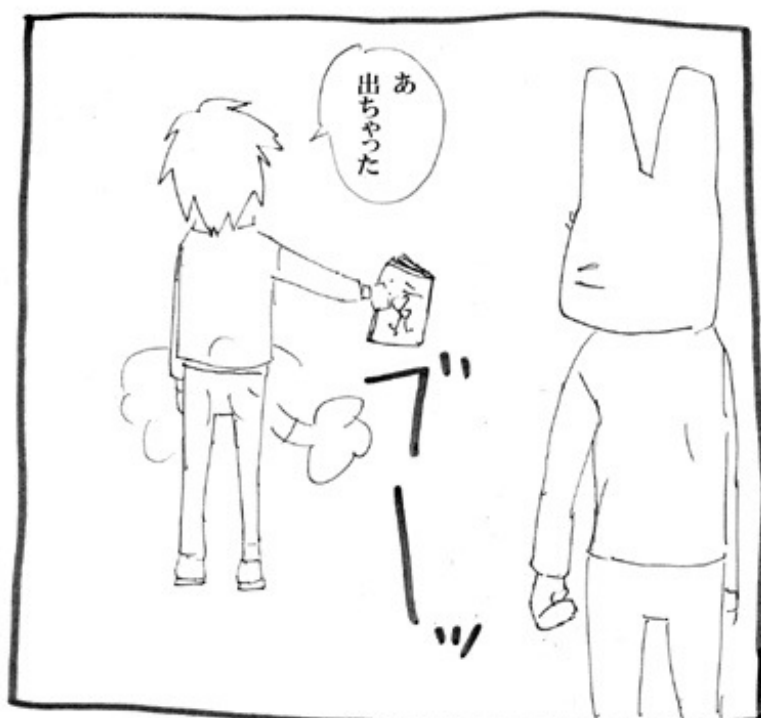
日常の風景を一変させる
絹を裂くような叫び……？

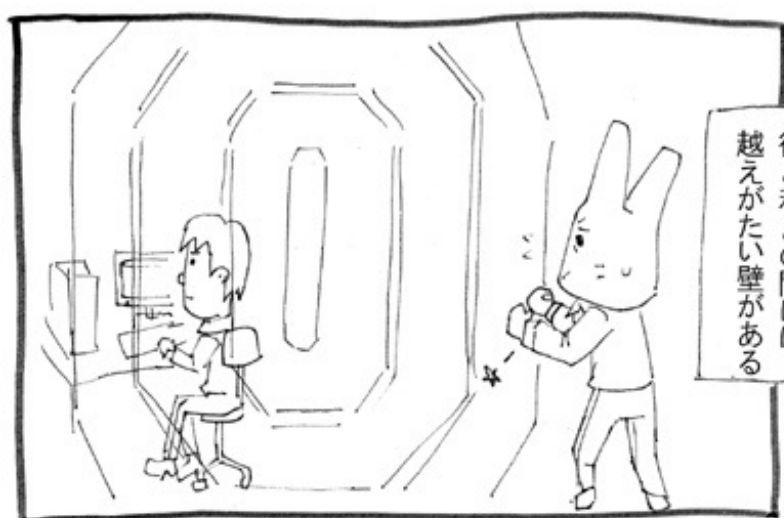












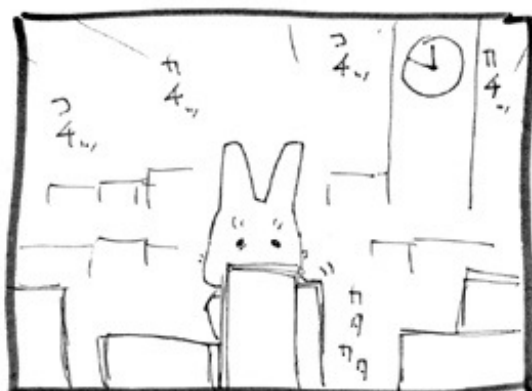
彼と私との間には
越えがたい壁がある



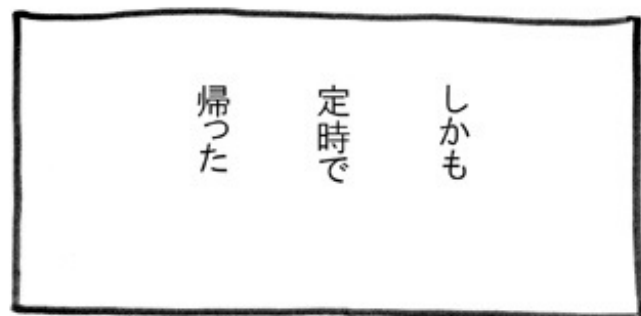
邪魔しないで
下さい



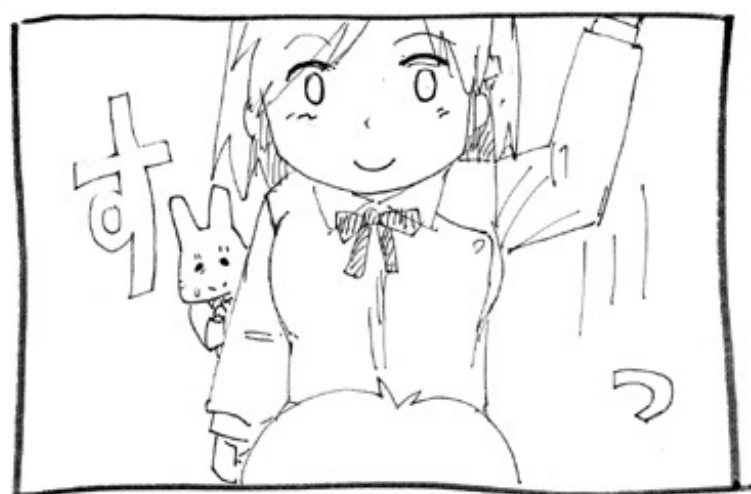
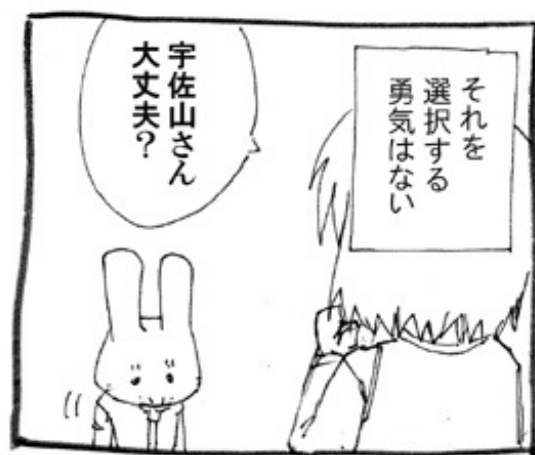
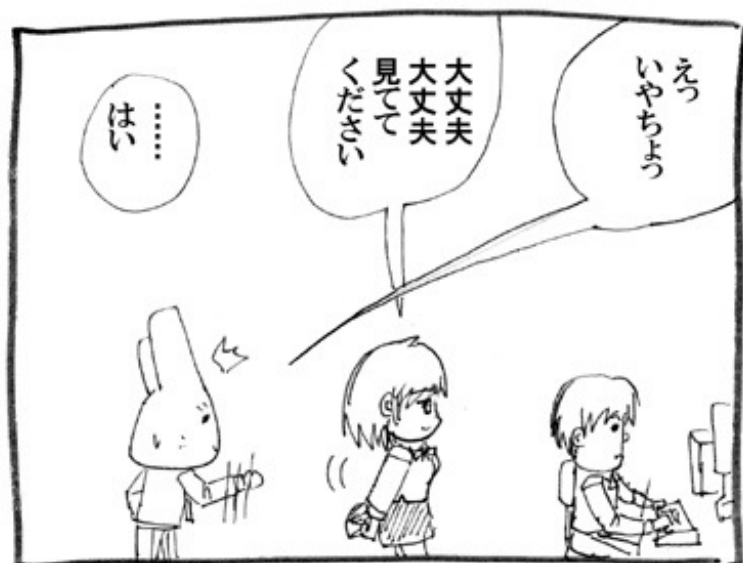
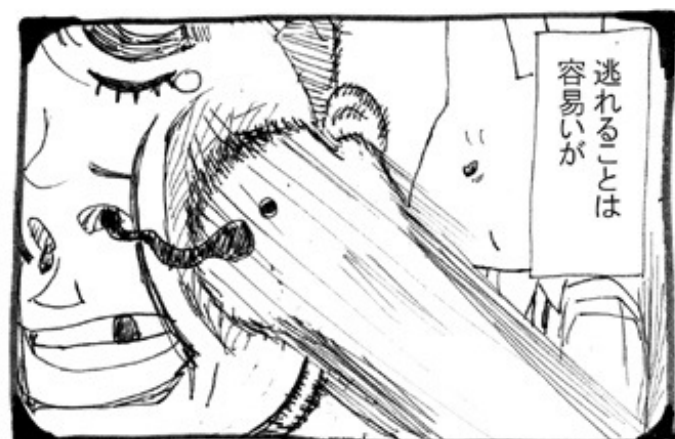
仕事を放り
投げる選択を
彼はとったのだ



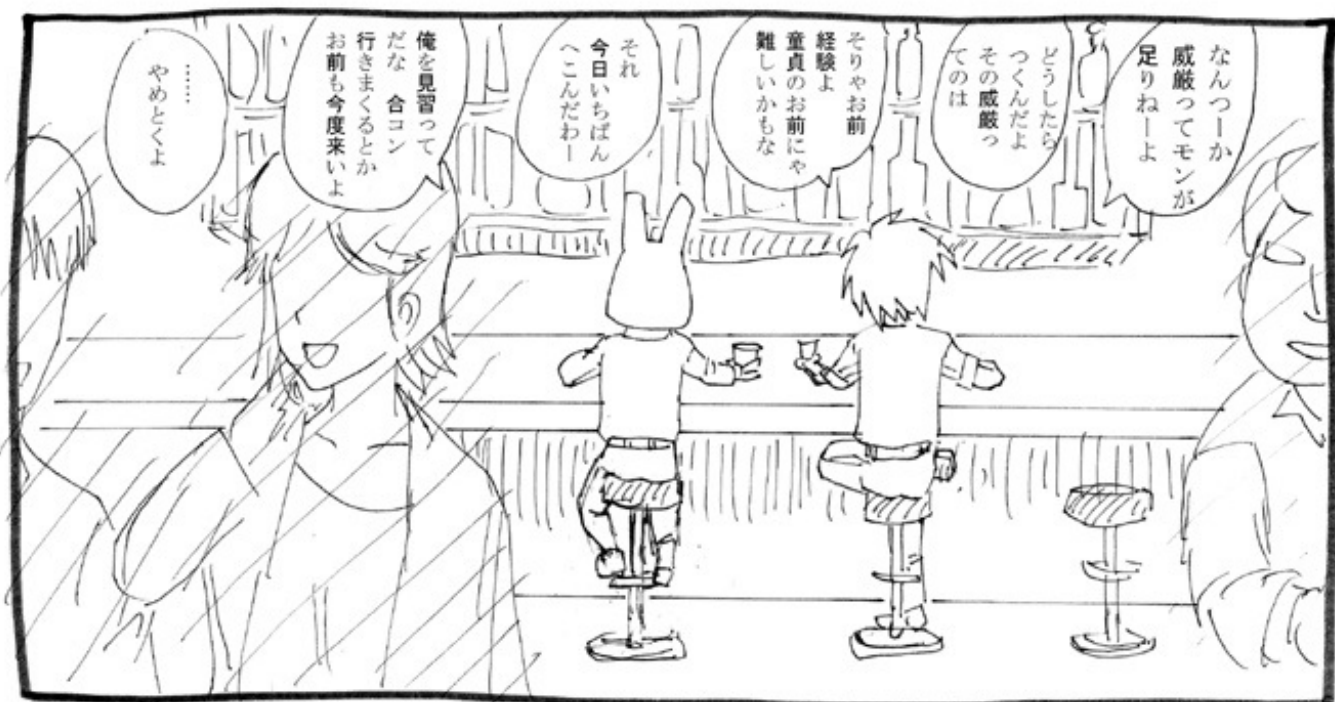
結局彼は
仕事を終わらせる
事が出来なかった

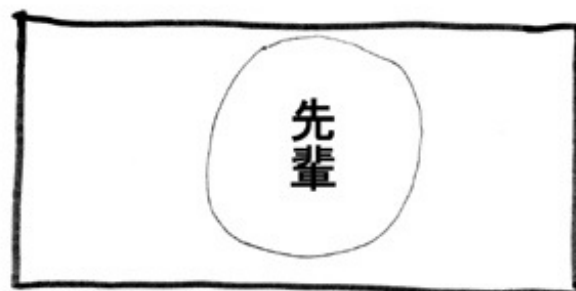
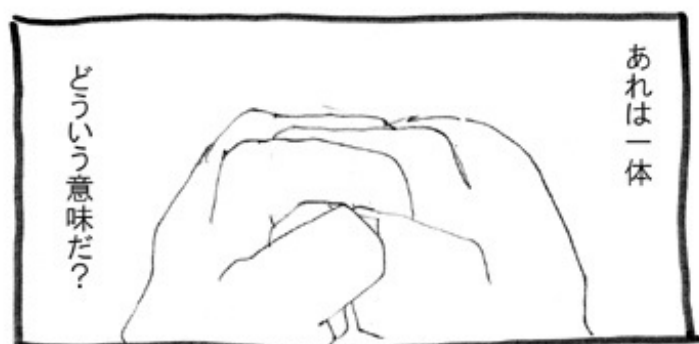
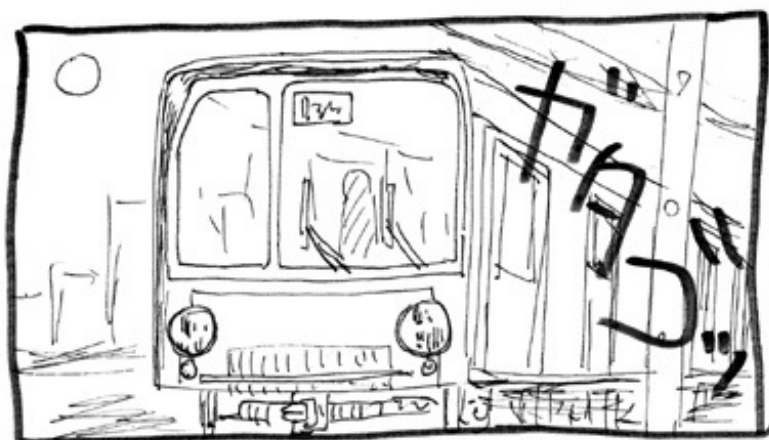


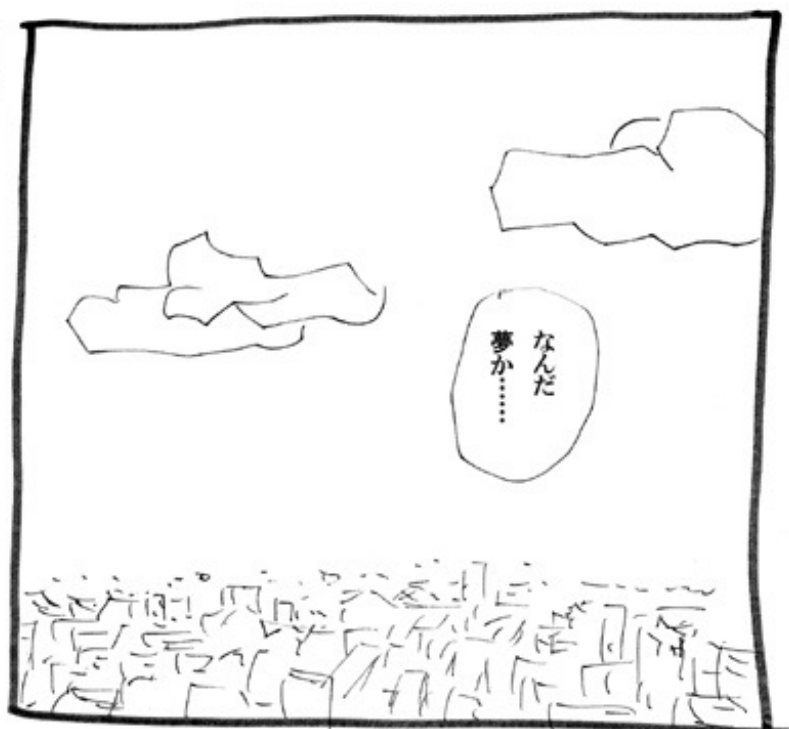
帰った
定時で
しかも

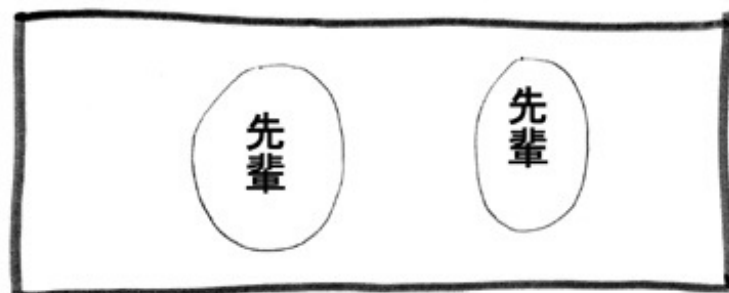
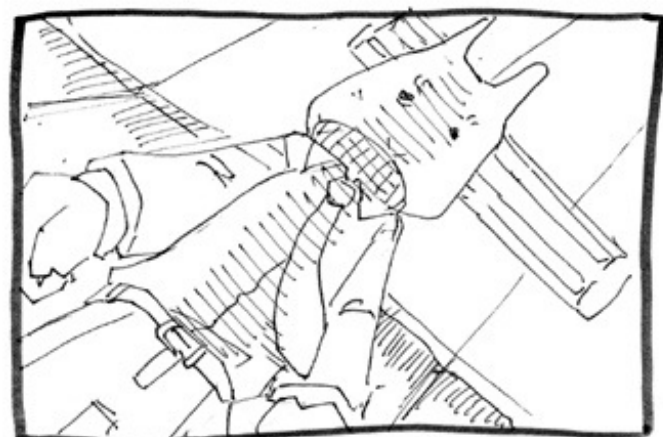


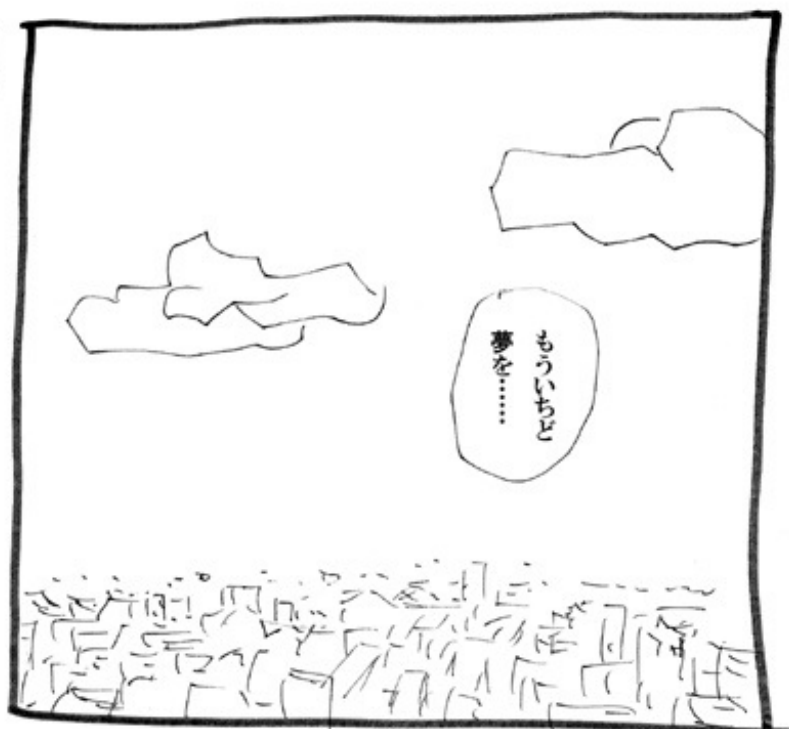
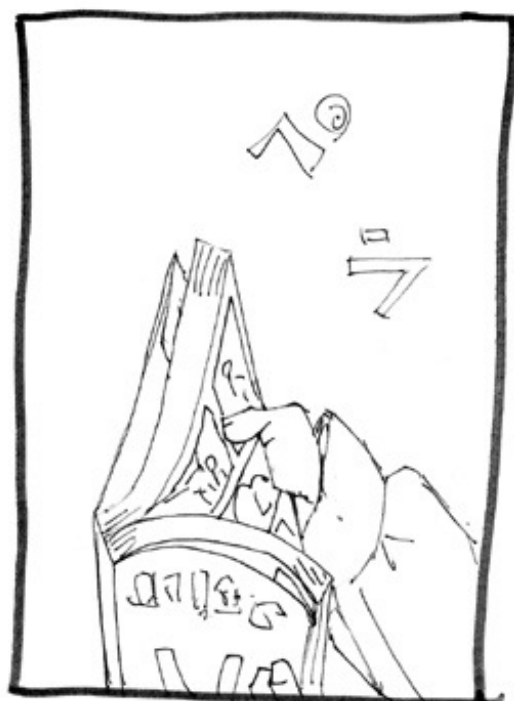


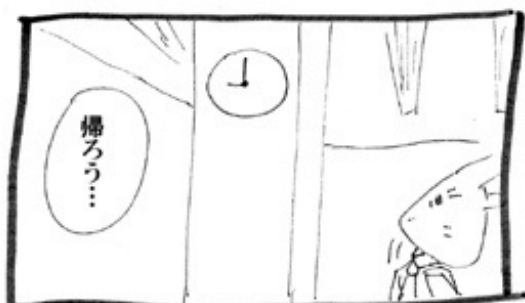


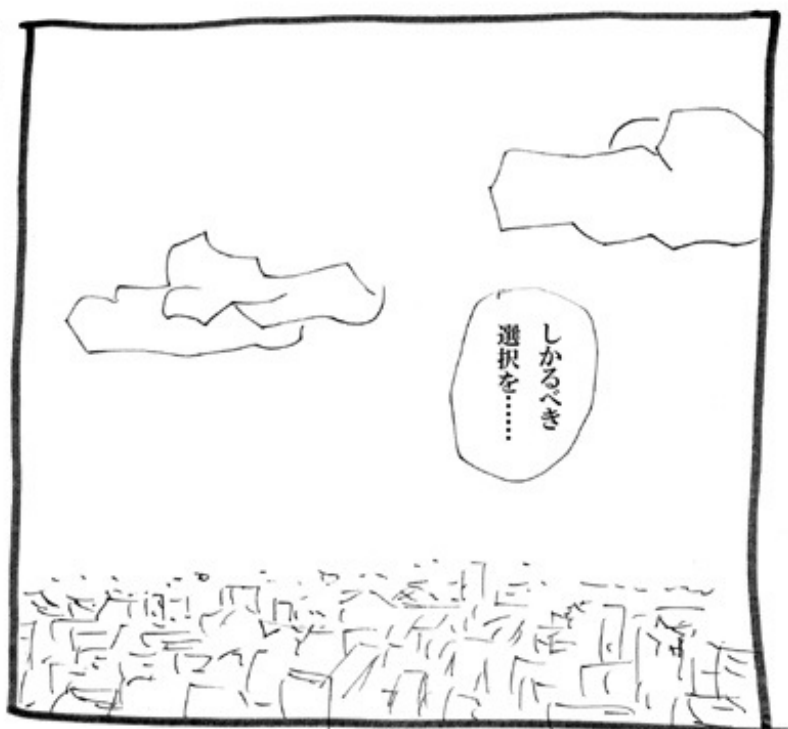


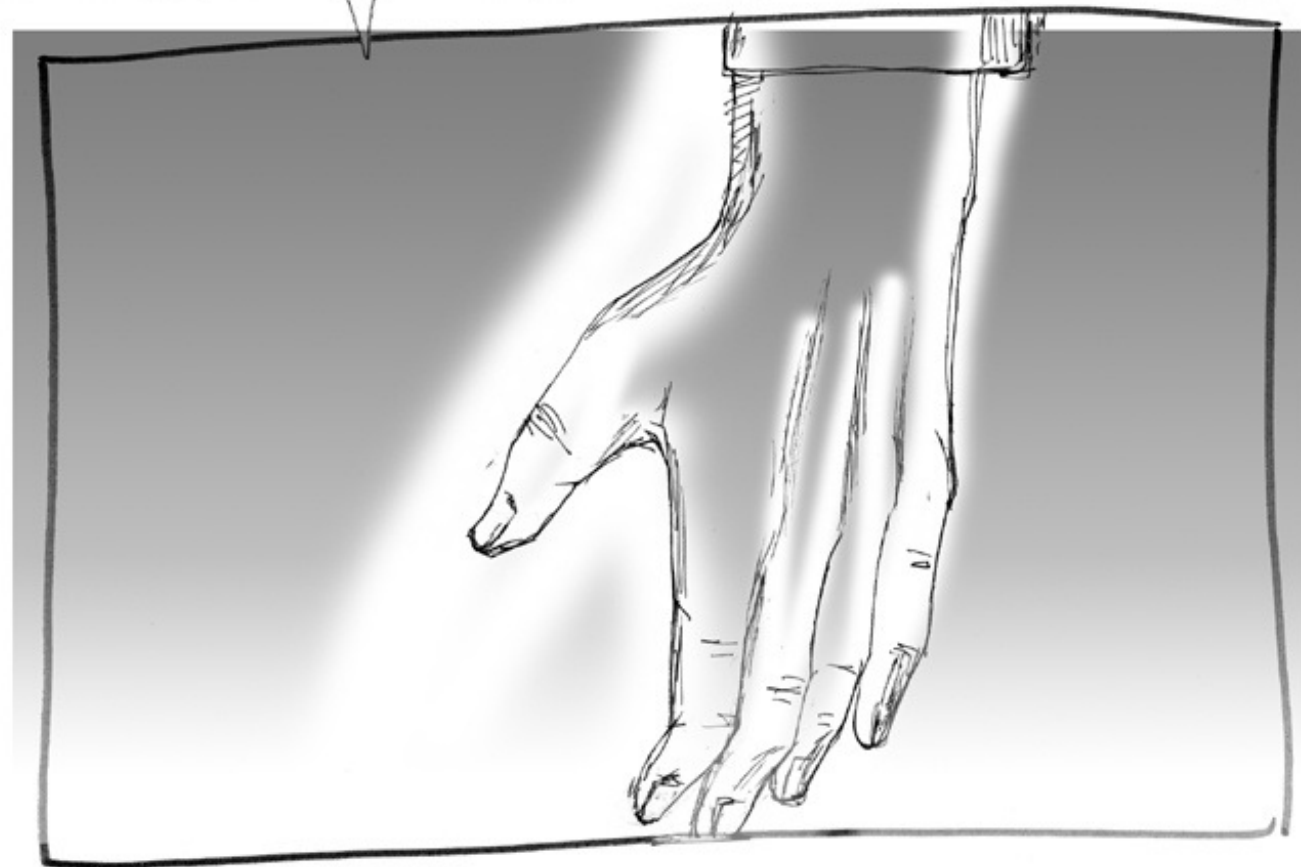
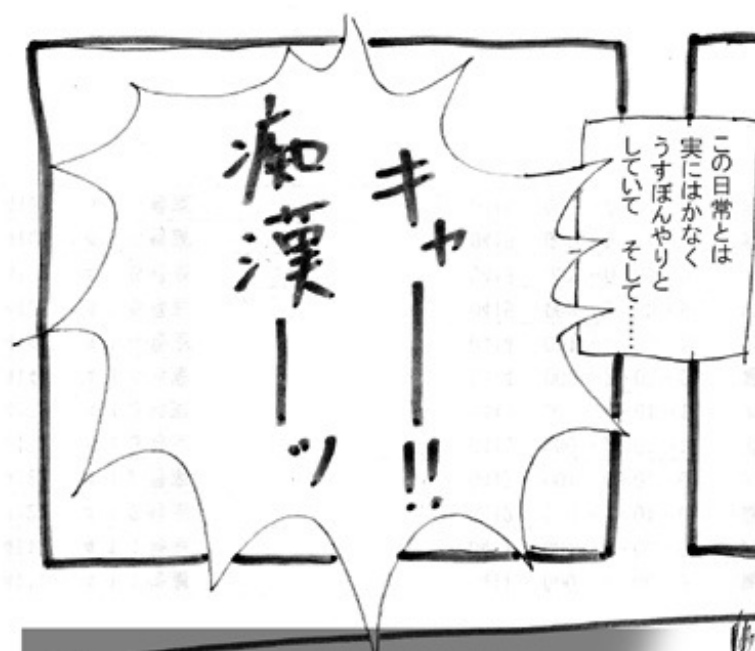


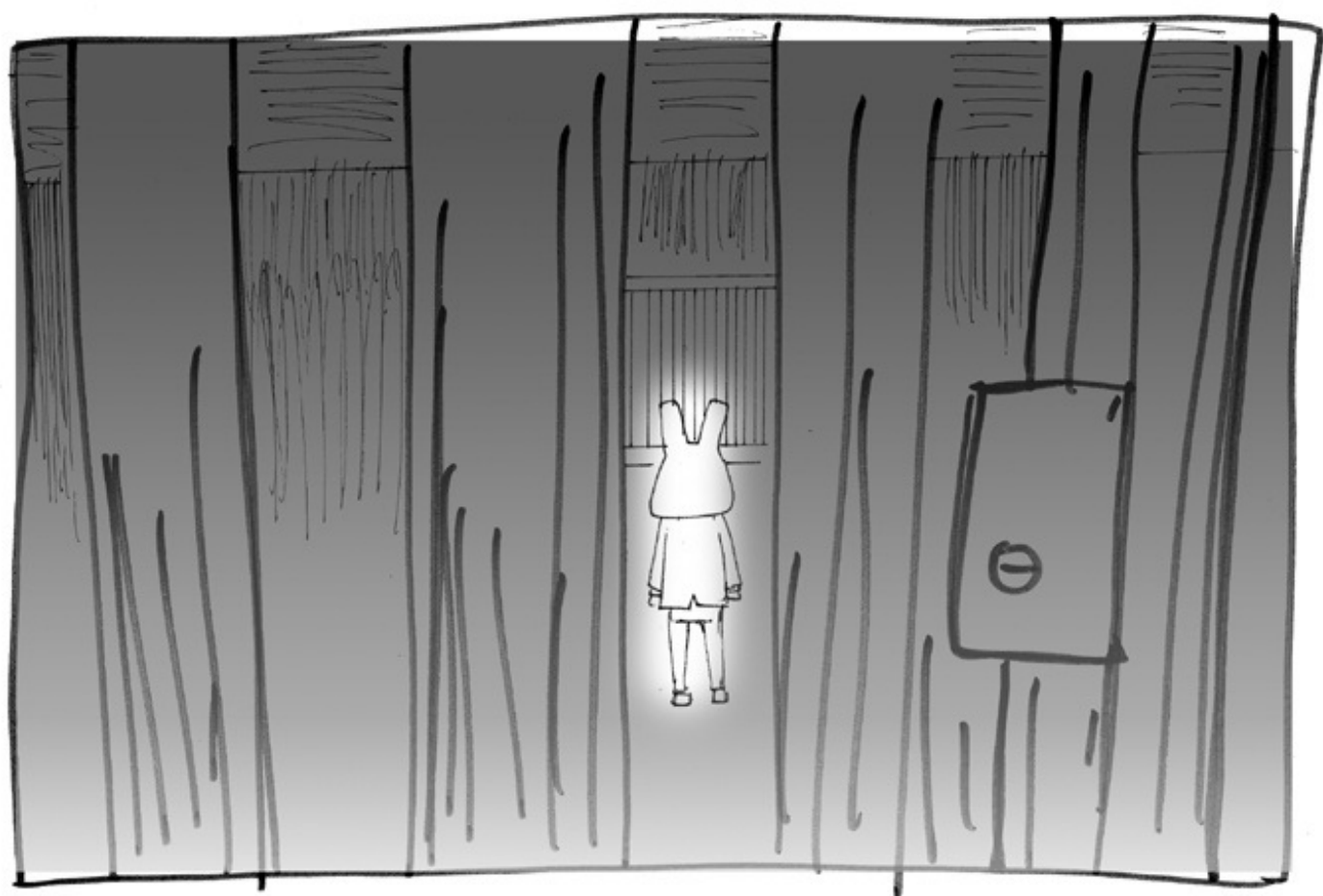












天国へ続く道か
それとも……？

完.

美漫？ 画録



三年間の眠りを経て今ここに発表！

「彼氏が突然地下
アイドルにはまっ
た。」 神原麻里

カレン
神原麻里 24歳。



田舎から上京して
短大卒業後
一般企業に就職。
3ヶ月上の彼氏とは
結婚の日程で
付き合っている。
いぬる。

彼氏が

突然...

リア充。



地下アイドルに

はまった...



結局、彼には内緒で
「毎日出演中」...



7月



10月



1月



3月



地下アイドルの世界は底知れない！

宮崎駿の中の諸星大二郎と 手塚治虫の亡霊

橘 蜜瓶

1. 風の谷のナウシカと諸星大二郎。

宮崎駿のまんが作品である『風の谷のナウシカ』は独特なタッチ（線画）で描かれたまんがだ。柔らかでどこか懐かしいような絵柄、宮崎駿本人が自分の絵柄自体は東映動画のアニメーターの仕事をしているうちに固まったと語っているが、このまんが版ナウシカはアニメーションの作画とはまた違うタッチで描かれている。

「何に似ているんだろう」と考えた時に、ふと諸星大二郎の独特で不気味なタッチが頭をよぎる。宮崎駿は諸星大二郎のファンで有名だし、実際に「『風の谷のナウシカ』はほんとうは諸星さんに描いてもらいたかった」という発言までしているので諸星大二郎のタッチが『風の谷のナウシカ』に影響を与えているのはありえそうな話だ。

それに宮崎駿の諸星大二郎へのオマージュは『風の谷のナウシカ』にとどまらず、他の作品にも見ることができる。例をあげれば『千と千尋と神隠し』にでてくるカオナシ。あれは諸星大二郎の『不安の立像』に出てくる影法師に酷似しているし、『崖の上のポニョ』に出てくるポニョとグランマンマーレは『葉と紙魚子シリーズ』のクトゥルーちゃんとそのお母さんにそっくりだ。『天空の城ラピュタ』に登場するあの有名な「バルス」という言葉も『マッドメン』の中にでてくる言葉が元ネタだと推測されている。

日本人なら誰でも知っていて国民的な人気を誇る宮崎作品に、実力派や天才と評されながらもまんがが好きにしか読まれないカルト作家の諸星大二郎が影響を与えているというのは奇妙な話である。

何故、宮崎駿は諸星大二郎を自分の作品の中に取り入れるのだろうか。もちろん好きだから、というのもあるだろう。しかし、このテキストはそれだけではなく宮崎駿が諸星大二郎を取り入れる必然性をその宮崎駿の原点である手塚治虫から探ってみたものである。

2. 原点にして最大の壁、手塚治虫。

宮崎駿の原点は手塚治虫である、というのは有名な話だ。

これについては宮崎駿本人が語っている。

「僕らの世代が、戦後の焼け跡の中で『新宝島』に出会った時の衝撃は、後の世

代には想像できないでしょう。まったく違う世界、目の前が開けるような世界だったんです。その衝撃の大きさは、ディズニーのマネだとか、アメリカ漫画の影響とかで片づけられないものだったと思います」

このコメントは2009年に手塚治虫展が開催された時に読売新聞が行ったインタビューからだ。十代の頃の宮崎駿は手塚治虫に衝撃を受けまんが家を目指したことが今のアニメ映画監督になったきっかけとしている。

しかし、宮崎駿は手塚を原点としながらも「手塚治虫と格闘してきた」と語る。どうも、ファンとして尊敬するというような単純な存在ではなかったようだ。

宮崎駿のエッセイやインタビューをまとめた『出発点』という本の中に『手塚治虫に「神の手」をみた時、ぼくは彼と訣別した』という記事が乗っている。

十八歳を過ぎて自分でまんがを描かなくてはいけないと思ったときに、自分にしみ込んでいる手塚さんの影響をどうやってこそぎ落とすか、ということが大変な重荷になりました。

ぼくは全然真似した覚えはないし実際似てないんだけど、描いたものが手塚さんに似ていると言われました。それは非常に屈辱感があったんです。模写から入ればいいと言う人もいるけどぼくは、それではいけないと思い込んでいた。それに、手塚さんに似ていると自分でも認めざるをえなかったとき、筆筭の引き出しにいっぱいためてあったらぐがきを全部燃やしたりした。

これはわかりやすく宮崎駿の脱手塚治虫思想が見てとれる記事だ。

さらに、宮崎駿は手塚治虫をストーリーまんがを作った人としては評価しているが、アニメーションに関しては、手塚治虫が喋ってきたことや主張したことはすべて間違いであると指摘している。どうして手塚治虫がそんなことになってしまったのか、宮崎駿はエッセイの中で考察している。

なぜそういう不幸なことがおこったかと言えば、手塚さんの初期のまんがをみればわかるように、彼の出発がディズニーだったからだと思います。日本には彼の教師となる人はいなかった。初期のものなどほとんど全くの模写なんです。そこに彼は独自のストーリー性を持ち込んだ。持ち込んだけど、世界そのものはディズニーにものすごく影響されたまま作られ続けた。結局、おじいさんを超越することはできないという劣等感が彼の中にずっと残っていたんだと思います。だから「ファンタジア」を超えなきゃいけないとか「ピノキオ」を超えなきゃいけないとか、そういう脅迫観念からずっと逃れられなかったとしか思えない。

この「おじいさんを超越することはできないという劣等感」という語りそのものが宮崎駿本人が手塚治虫に対して抱えていた劣等感ではないだろうか。

だからこそ必要以上とも思えるくらいに手塚治虫を批判し、嫌悪し、戦ってきたのではないだろうか。

3. 諸星大二郎という手塚治虫へのアンチテーゼ

この宮崎駿と手塚治虫の関係の中にぴょこんと飛び込んでくるのがこの諸星大二郎だ。とはいえ、直接的に2人の間に係わる人物ではない。

しいて関係性をあげるのならば諸星大二郎は手塚賞をとったことで有名になり、本格的な作家活動に入ったということで、手塚治虫にはゆかりのある人物である。

第7回手塚賞受賞作である『生物都市』はきわめて独創性の強いSF作品で当時選考員をしていた筒井康隆もあまりの完成度から類似作品があるはずだと思いながらも、何も思い当たらず、手塚治虫も負けず嫌いで滅多に人を誉めたりしないのだけど「諸星さんの絵だけは描けない」と賞賛したほどだ。

諸星大二郎は、その後も神話を大胆に取り入れたフェイクフォークロアともいえる作風の『暗黒神話』や『妖怪ハンター』などを発表し、今だに多くの読者に愛されている実力派のまんが作家になっている。

しかし、実際には手塚治虫が手放しで誉めていた、というわけではなさそうだ。

1979年に発刊されたまんが専門誌『ぱふ』の特集「諸星大二郎の世界」の中にある『諸星大二郎を語る』という手塚治虫へのインタビュー記事がある。

これは絶対的にいいとおしたのが僕と筒井康隆さんなんですよ。つまり、僕達はSFズレしてましてね、これは何の影響をうけた作品かとか、これは何と何を読んで生み出した発想かなんて、大抵のSFまんがはわかってしまうわけです。

それが初めて諸星さんの「生命都市」を読んだ時、これはどういう発想をしたか知らないけど奇妙な感覚をもっているなあ、と思いましたね。だから諸星さんの場合は画とか物語よりも、その奇妙な雰囲気がまず第一印象でした。それはまあ、SFまんがの”新しい波”といった感じで、僕達は認めたわけです。

といった風に賞賛する一方で

ところが残念なことにね。まあこれは苦言なんだけれど、諸星さんの画は洗練された画とは言えないわけです。

もっともあくまでその画風というのは「COM」とか「ガロ」とかの系列であって、つまりマニアの人達に向けて彼はメッセージを送り続けているわけです。

画について、一時は「真似できない」と誉めながらもここでは「洗練された画とは言えない」と苦言を述べている。

「暗黒神話」みたいなものが本当にまんがとして優れた素晴らしいものかという、少し奇想天外な、いわゆる”まんが”としての要素もいれてもらいたいという気がしますね。そういう意味ではあの奇妙な動物がいっぱいでてくるのがあるでしょ、「ど次元世界」ね、あれの方が僕は好きだな。つまりね、あれだとわけがわからんながらもとにかくおもしろいですよ。

『暗黒神話』は諸星大二郎の中でも特に高い評価を受けている諸星独自の作風をもった作品だが、手塚治虫はそれをそこまで高く評価していない。むしろ『ど次元世界』という既成のコメディマンガを描いた作品の方が好きだと語っているのである。

注目すべきは「あれだとわけがわからんながらもとにかくおもしろい」という発言だろう。これはまるで「暗黒神話」がわけがわからなくてつまらないとでも言いたいかのようだ。

この記事でわかることは手塚治虫は最初はニューウェーブとして諸星大二郎を絶賛し、賞を与えたものの、その後、今だにニューウェーブでありつづけ、独自の路線を行く諸星を批判しているようだ。

諸星大二郎への評として間違っただのとは思わないが、矛盾をはらんだ評だとは言えるだろう。もし、手塚治虫を嫌いで諸星大二郎が好きな宮崎駿がこのインタビューを読んだらどう思うだろうか。

おそらくこの矛盾に手塚治虫の没落を見るのではないだろうか。

一度は「真似できない」とまで画風を評価しておきながら、後から洗練されてないと否定することは負け犬の遠吠えのようにも聞こえるし、ニューウェーブであることを誉めながらも、独創的な発展作については「理解できなかった」ともいえる発言をしてしまっている。

「そらみたことか！ やはり手塚治虫は終わったのだ！」と宮崎駿が小躍りしそうなインタビューだとは言えないだろうか。

4. 手塚治虫の亡霊はいなくなる。

宮崎駿の原点は手塚治虫である。

しかし、それが故に宮崎駿は手塚治虫から脱却せねばならなかった。

この感情は自分の原稿を燃やしたことからもみてもかなり強いものだったと思われる。

また手塚治虫がクリエイターとして落ち込んだ理由も「原点から脱却できなかったせい」だと考察している。これは自分の感じていた焦燥の裏返しとともれ、宮崎駿自身がかなりの強迫観念を味わっていたものだと考えられる。

おそらく「脱手塚治虫」から始まり「打倒手塚治虫」になり「手塚治虫のようにはなるまい」とさ

え考えていたのではないのだろうか。

そんな手塚治虫と戦ってる最中に会ったのが諸星大二郎だ。

この作家は手塚賞を受賞し、手塚治虫本人に「この画は真似できない」と言わせたほど独自の画を持っていて、一度はニューウェーブとして認めさせながら、さらにそれを発展させ、手塚治虫を置いてけぼりにするほどの才能をもった漫画家である。

手塚治虫に認められながらも、手塚治虫の影響下にいない諸星大二郎という作家に、作品の優劣や好み以上の憧れや羨望を持ったとしても不思議な話ではないだろう。

手塚治虫は時代を越えた作家である。今でもその作品は生き、影響力も強いままだ。宮崎駿もすでに時代を越えた作家になりつつあるが、それでも作品を発表する限りは、これからも手塚治虫という呪縛から全て解放されることはないだろう。

だからこそ、宮崎駿は自分が自分であるために手塚治虫の影響下にない諸星大二郎をオマージュとして使い続けているのではないだろうか。

宮崎駿も、諸星大二郎も巨匠として今だ現役の作家である。宮崎駿は自分で手塚治虫を越えた、もしくは別の世界で戦っていることを納得できるのか、そして、諸星大二郎は手塚治虫がいうように、マニアの人達に向けてメッセージを送り続けたまま終わってしまうのか、これからの2人の行く末が楽しみである。

日曜日も終わりだ...



A

B

C

の集い

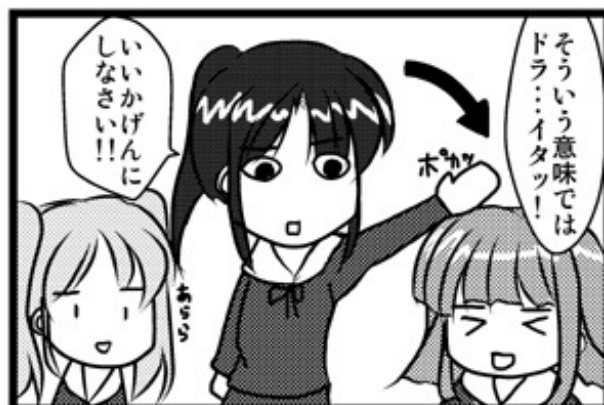
一年
うたがわさよめ

あっ…そっかあ…

サザエ症候群



勝ち組



スポーツマンシップ



自主休校



NOT 社会人



ちょっと…いいかな？



スイーツ



おしまい



諸星 〇ゆびわ

「ここからはじまるのは詩である。何故、こんなと書くのかといふ、わたしが以前に詩を発表した時に「これは詩ではない」と

言われたことがあるからだ。詩というのはこれといった定義がない。詩は詩である。詩と云うのはこれといった定義がない。

「これは詩ではない」なんてことが起きる。だから、最初に「これは詩である」と書いておくことにした。もちろんそんな前書きを

気にしないで「こんなのは詩じゃない」という人もいるだろうし、口に出さないけど、心の中では「やあ、これは詩ではないぞ」と思っ

てたりする人もいるだろう。詩とは戦いだ。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。

「これは詩である」と書いておくことにした。もちろんそんな前書きを気にしないで「こんなのは詩じゃない」という人もいるだろうし、口に出さないけど、心の中では「やあ、これは詩ではないぞ」と思っ

てたりする人もいるだろう。詩とは戦いだ。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。

「これは詩である」と書いておくことにした。もちろんそんな前書きを気にしないで「こんなのは詩じゃない」という人もいるだろうし、口に出さないけど、心の中では「やあ、これは詩ではないぞ」と思っ

てたりする人もいるだろう。詩とは戦いだ。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。わたしは詩と戦った。



わたし

が落ちていくのは詩まうまの背中でした



ただし、すでに詩まうまは死んでいました。

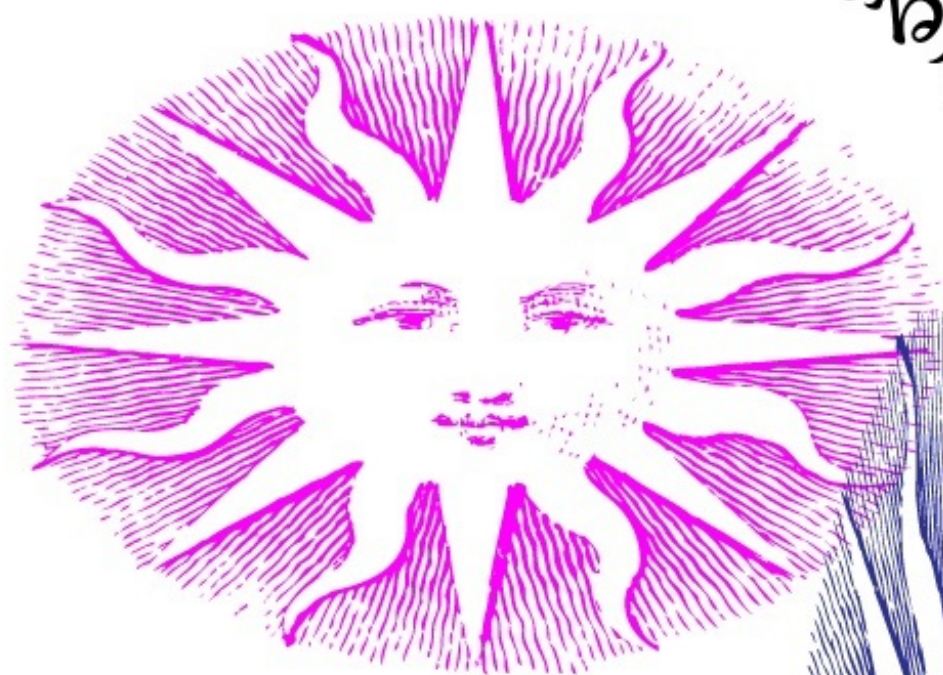
自殺



自殺自殺自殺自殺自殺自殺自殺自殺自殺自殺

る。詩まうまにとつて、

それがたまたま詩まうま



中かぬいしを維持する

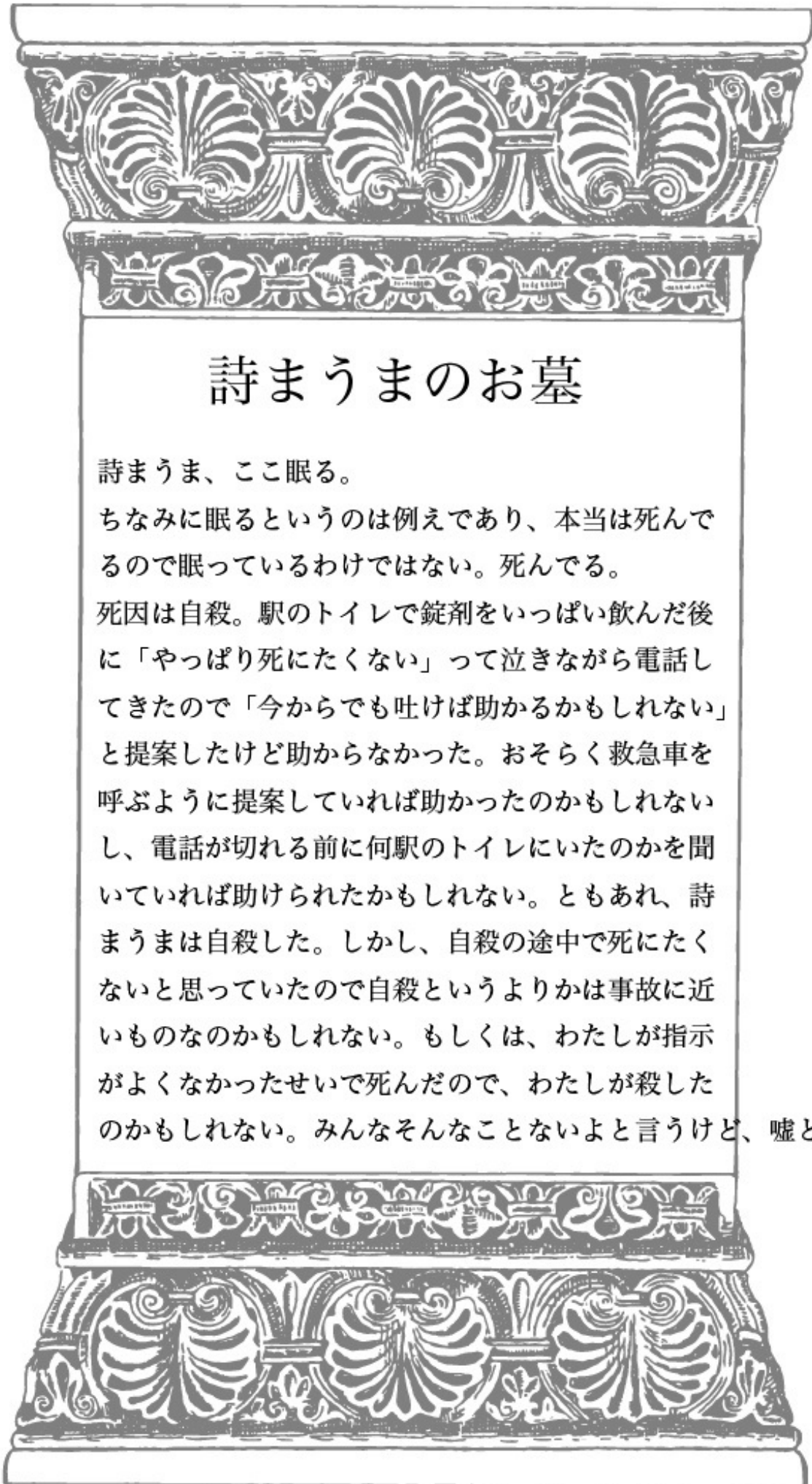
のこめを殺して
わたしはちがうも何かを殺して
たぶん。





山紋もまた前へ進むに
たといえるかな
？





詩まうまのお墓

詩まうま、ここ眠る。

ちなみに眠るというのは例えであり、本当は死んでるので眠っているわけではない。死んでる。

死因は自殺。駅のトイレで錠剤をいっぱい飲んだ後に「やっぱり死にたくない」って泣きながら電話してきたので「今からでも吐けば助かるかもしれない」と提案したけど助からなかった。おそらく救急車を呼ぶように提案していれば助かったのかもしれないし、電話が切れる前に何駅のトイレにいたのかを聞いていれば助けられたかもしれない。ともあれ、詩まうまは自殺した。しかし、自殺の途中で死にたくないと思っていたので自殺というよりかは事故に近いものなのかもしれない。もしくは、わたしが指示がよくなかったせいで死んだので、わたしが殺したのかもしれない。みんなそんなことないよと言うけど、嘘とも本当とも

ライター 編集者 デザイナー イラスト等 大募集中！

あなたも電子書籍を
作ってみませんか？

じい出版では一緒に雑誌を作っていくスタッフを募集しています。

■応募資格

インターネットに接続できること。

これだけです。

経験などは不問です。一応、プロやセミプロの方も参加していますが、編集長自体は素人そのものだし、基本的には素人のために作られた雑誌です。やりたいことや、経験してみたいことをどんどんやってください。

ちなみに、現在の参加メンバーの年齢は１０代～６０代とかなり幅広い感じになってます。
年とか経験なんて飾りです！ なにを作るかだ！

■投稿作品について

基本的に、ジャンルや量は問いません！ 山脈は何でも受け入れます！ 作品の形式はテキストか画像にて投稿してください。

それと合わせて、ちょっと無理そうだけどやりたいこと、手が必要なことがあればどんどん相談してください。山脈編集部が出来る限りのお手伝いをさせていただきます！

また山脈は無料雑誌のため報酬などはありませんが、作品がたまって個人で電子出版する時に参加メンバーみんなでお手伝いしようと思ってます。それを有料で売るのは個人の自由なので、一応、報酬もできるかもしれません。

記事の投稿は jii_syuppan@mail.goo.ne.jp をお願い致します。

よくわからない時は気軽にコメントしてくださいね。

Twitterで質問してくれてかまいません。

編集長のTwitterアカウントは@yes_ksです。

ちなみに次回締切は、２０１３年３月３日！

君の参加と作品を待っている！！

山脈付録ミニブック チウレの陽 CHIURENOHI

作中に登場した神様が連載していた「チウレの陽」がミニブックになりました。組み立ててもゴミにしかないけど作って捨ててね！

■ よういするもの



次のページを印刷したもの / 定規 / リンメンテープ
カッター / めうち / はさみ

■ つくりかた



① 切る前に折り目がくるであろう所にめうちで跡をつけておくと後々助かる。



② 切り取るとこんなパーツがそうよ。のりしろに両面テープを貼っておくと○。



③ くっつけるとこんなかんじ。



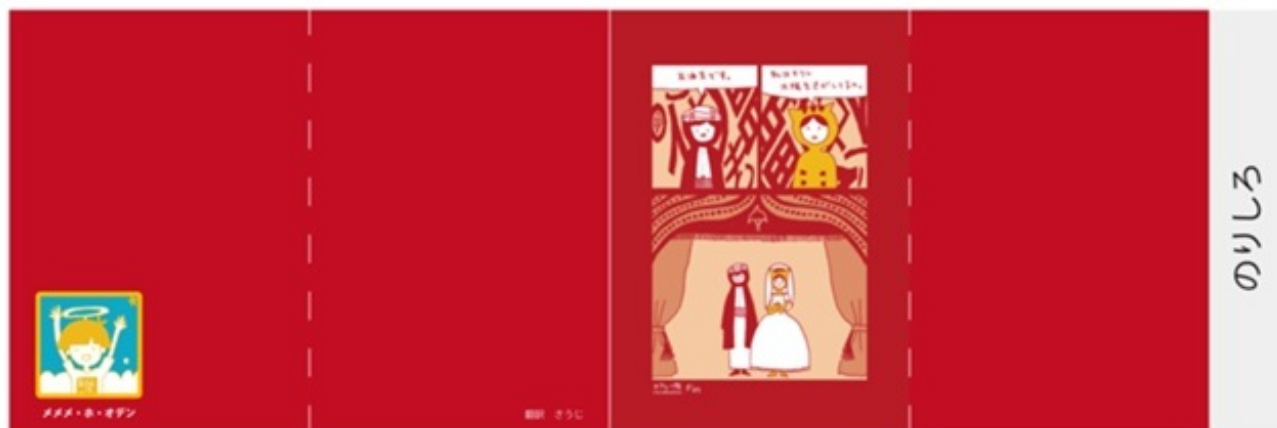
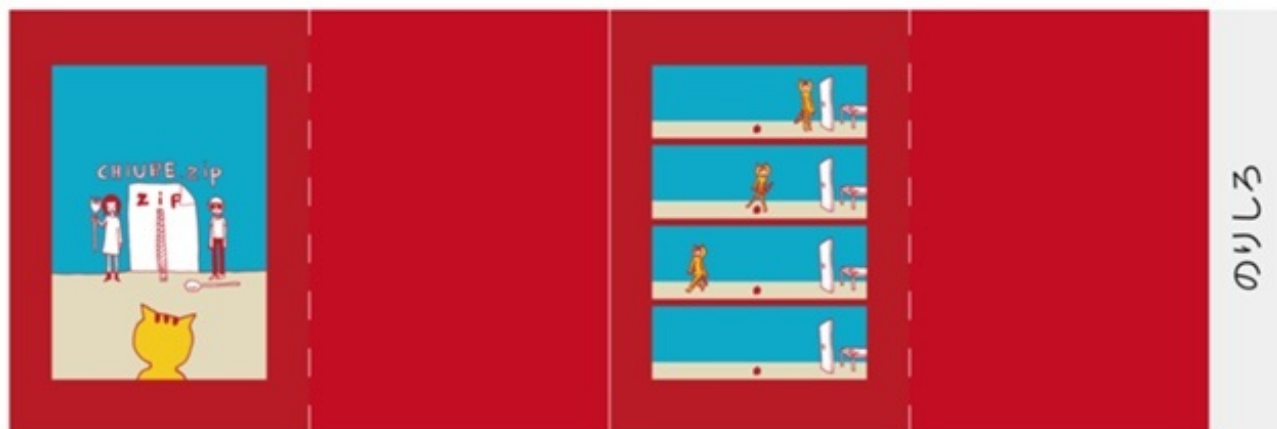
④ ジャバラに折ってから裏表紙で止めると完成！ヤッピー！



⑤ 保存用帯を使うと本が勝手に開かなくなって捨てやすい。

こうさくく、わからないことが
ありましたらできる範囲で
お答えします。
@sauzi まで







イエス曖昧／編集長

マンガという漠然とした大きなテーマだったの不安でしたけど、蓋を開けてみればちゃんと記事が集まって安心しました。みんな感謝です。あと山脈は次号で最後になり、そのあとは「しん宇宙」という雑誌に生まれ変わりますので、次が山脈のラストです。よろしくゴー。

大友宗麟／編集部

マンガはいつだって、手を変え品を変え我々を魅了してきた。マンガはいつだって、我々の胸を躍らせ楽しませてくれた。だけど、マンガそのものが自分の成長に合わせ変遷してきたわけではない。誰かが想像し希求するからそこにある。空想が現実となる喜び。いつだって、想像し続ける誰か、になりたい。

遠藤玄三／編集部

最近は学校現場でも漫画がひとつの文化的表現物として認められてきてます。本嫌いの子もたちも漫画なら読めるよ！ って話を聞いたりしますが、読みたいときに読めない本なんて私も嫌いです。朝読書する必要なんてどこにあるんだか（でも現場で言うと危ないよ！）。

朱堀裡乃進／序二段

「穴女」だと急にホラーになる。

伊東マンション

このマンガは全部こすって消えるボールペンで描かれています。誰です、こんな便利で魔法のような代物を発明したのは。皆さんは人生で後悔したことはないでしょうか。時間を巻き戻してあのときの選択をやり直したい！ ないでしょうか。選択は慎重に。ボールペンのようにこすって消すわけにはいきません。

REC／表紙デザイン

イマジネーションなんかいない国で静かに暮らしたい。つとめて。

神原麻里

この原稿はまだ私が地下アイドル業界に居た頃に、彼女達をモデルに描かせていただいたものです。まさかあの時趣味で描いたものが陽の目を見る日が来ようとは……。私がみなさまにお伝えしたいのは……メイドはみんな彼氏居るよ！ 辞めたら客と結婚するよ！！ 地下ドルは同棲もしくは結婚してるよ！！ 家電は大体客に買わせてるよ！！ ということです。

さうじ／巻頭特集のデザインとマンガ

遠くから見たらナショジオみたいだなとおもいました。

諸星ゆびわ／詩人

ひさしぶりに詩を書きました。楽しかったです。いつも笑いながら書いてますけど、笑うのは本当に体にいいです。またやりたい。

うたがわきよみ

あ ありのまま 今 起こった事を話すぜ！「おれは 奴（大友宗麟）に言われた締め切りを守っていたと
思ったら いつのまにかアんな日になっていた（12月23日）」な 何を言っているのか わからねーと思うが（ry（申し訳御座いませんでした。そして有難うございました!!）

山脈 vol.05 特集「マンガ」

<http://p.booklog.jp/book/62517>

著者：じい出版

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yesks/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/62517>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/62517>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ